

令和元年度（平成30年度対象）

**教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の報告書**

令和元年8月

音更町教育委員会

目 次

はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況	2
(2) 規則等の制定・改廃の状況	6
(3) 表彰の状況	7
(4) 研修会等への参加の状況	9
(5) 学校訪問の状況	9
(6) 町民への情報提供の状況	10
(7) 教育委員会の組織	11

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上	12
(2) 健やかな体の育成	23
(3) 豊かな心の育成	28

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策	30
(2) 社会教育の振興	36
(3) 社会体育の振興	42

4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況 45 |

II 学識経験者の意見 52 |

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することとなっています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

音更町教育委員会では、これまでも各種計画に基づき効果的な教育行政を推進してきましたが、法に基づく点検及び評価を行い、その結果を公表することで、町民の皆様に教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

2 点検及び評価の対象

平成30年度の教育委員会の活動状況のほか、平成30年度教育行政執行方針に位置付けられて実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

また、特に町民の方から関心が高いと思われる「確かな学力の向上」「健やかな体の育成」「豊かな心の育成」について、現状や課題、今後の方向性等に関する点検・評価を行っています。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

学識経験者 野 崎 司 春 氏 (帯広大谷短期大学特別任用教授)
 平 野 公 規 氏 (元中学校校長)

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び音更町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員会委員が教育行政に関する基本的な方針の決定や教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

平成30年度は、以下のとおり会議を開催していますが、それぞれの会議において、事務局から付議案件の提案理由や説明を行った後、教育委員会委員の活発な質疑、審議を経て、いずれも決定・了承されています。

事務局では、教育委員会の会議の活性化と十分な審議を実施するため、各委員に議案・資料等の事前説明を行うなど、審議がより活発なものとなるよう配慮しています。

また、教育委員会会議の前に委員相互の意見交換をする場を設け（必要に応じ事務局も入り）、日常の情報交流を図るとともに、教育委員会会議において委員の意見を反映させるため、付議案件以外に意見を提案する場を設けています。

今後も、学校訪問などの活動を充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えます。

期 日	付 議 案 件
【臨時会】 30.4.9 [18:00～18:10]	(議案) ・ 音更町立駒場中学校学校運営協議会委員の任命について
【定例会】 30.4.26 [13:30～14:20]	(報告) ・ 教育委員会事務報告 ・ 入学式の実施状況について (議案) ・ 音更町教育研究所所員の委嘱について ・ 音更町学校評議員の委嘱について ・ 音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 音更町生涯学習推進協議会委員の委嘱について ・ 音更町文化財保護審議会委員の委嘱について ・ 音更町青少年対策地区指導員の委嘱について ・ 音更町図書館協議会委員の委嘱について ・ 音更町スポーツ推進委員の委嘱について (協議案) ・ 教育委員会の学校訪問について

<p>【定例会】 30. 5. 24 [13:30~14:20]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度第 12 地区教科書採択地区調査委員会委員の推薦について ・ 音更町奨学資金審議会委員の委嘱について ・ 音更町青少年対策委員会委員の委嘱について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度補正予算 (案) について ・ 教育委員会の学校訪問について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
<p>【臨時会】 30. 6. 12 [19:30~19:45]</p>	<p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財産の取得について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町学校職員の処分の内申について
<p>【定例会】 30. 6. 27 [13:00~13:45]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町奨学資金支給者の決定について ・ 音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 音更町生涯学習推進協議会委員の委嘱について ・ 音更町文化財保護審議会委員の委嘱について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する評価委員の選任について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について

<p>【定例会】 30. 7. 19 [13:30～14:20]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ インターネット利用状況調査の結果について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町立学校における働き方改革推進プランについて ・ 音更町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について ・ 英語指導助手の採用について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について
<p>【定例会】 30. 8. 30 [13:00～14:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタについて <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について ・ 平成 31 年度から使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について ・ 音更町教育支援委員会委員の委嘱について ・ 平成 31 年度北海道公立学校校長採用候補者の推薦について ・ 昭和小学校の閉校及び統合について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町温水プール指定管理者募集要項（案）について ・ 平成 30 年度補正予算（案）について
<p>【定例会】 30. 9. 20 [13:30～14:30]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 31 年度北海道公立学校教頭昇任・主幹教諭昇任候補者の推薦について

<p>【定例会】 30. 10. 18 [14:00～14:20]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタの進捗状況について ・ 道教委による全国学力・学習状況調査の結果公表について (議案) ・ 平成 30 年度音更町文化奨励賞等表彰者の決定について ・ 音更町指定管理者選定委員会委員の委嘱について ・ 音更町青少年対策地区指導員の委嘱について
<p>【定例会】 30. 11. 27 [13:30～14:05]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町温水プールに係る指定管理者の候補者の選定について (協議案) ・ 音更町立学校設置条例の一部を改正する条例案 ・ 平成 30 年度補正予算 (案) について
<p>【臨時会】 30. 12. 14 [持ち回り開催]</p>	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員人事の内申について
<p>【定例会】 30. 12. 20 [13:30～14:20]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について ・ 平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の分析について (議案) ・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について (協議案) ・ 平成 31 年度教育委員会予算編成に伴う主要事業の概要について
<p>【定例会】 31. 1. 24 [13:30～14:10]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタの開催結果について (議案) ・ 平成 31 年度全国学力・学習状況調査の実施について ・ 音更町児童生徒文化・スポーツ賞選考委員会委員の委嘱について

<p>【定例会】 31. 2. 15 [13:30~14:20]</p>	<p>(報告) ・ 教育委員会事務報告 (議案) ・ 平成 30 年度音更町スポーツ賞等該当者の決定について ・ 教職員人事の内申について (協議案) ・ 平成 30 年度補正予算 (案) について ・ 平成 31 年度教育委員会予算 (案) 及び主要事業について ・ 平成 31 年度教育行政執行方針 (案) について</p>
<p>【定例会】 31. 3. 22 [13:30~14:20]</p>	<p>(報告) ・ 教育委員会事務報告 ・ 中学校卒業式の実施状況について ・ 平成 30 年度いじめに関する実態調査報告について (議案) ・ 音更町教育委員会傍聴規則等の一部を改正する規則案について ・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について ・ 学校運営協議会を設置する対象学校について ・ 教職員人事の内申について ・ 教育委員会事務局職員の人事について</p>

(2) 規則等の制定・改廃の状況

平成 30 年度に制定・改廃された教育委員会の規則・訓令及び教育関係の条例は次のとおりです。

ア 条例

題 名	公布年月日	施行年月日
・ 音更町立学校設置条例の一部を改正する条例	30. 12. 18	2. 4. 1

イ 規則

題 名	公布年月日	施行年月日
・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	30. 12. 21	31. 4. 1
・ 音更町教育委員会傍聴規則等の一部を改正する規則	31. 3. 22	31. 3. 22
・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	31. 3. 22	31. 4. 1

ウ 訓令

題 名	公布年月日	施行年月日
—	—	—

(3) 表彰の状況

ア 音更町文化奨励賞等

[音更町の文化の高揚と発展に寄与した個人又は団体を表彰]

① 文化奨励賞：(科学・芸術・教育等を通じ、音更町の文化の進展に著しく貢献した個人又は団体を表彰)

	氏 名 (年齢)	表 彰 事 由
個人	高 田 悦 子 (70 歳)	平成 10 年に日本舞踊「藤悦津会」の会主に就任し、平成 18 年には中山流民族舞踊師範に認証され、現在までの永きにわたり十勝管内各地で指導者として後進の指導に当たっている。さらに、町文化祭等の出演協力や福祉施設の慰問活動を積極的に行い、芸術文化の発展及び地域活動に大きく貢献された。
個人	竹 田 千恵子 (81 歳)	平成 4 年「おとふけみちくさ会」設立から現在までの永きにわたり会長を務める傍ら、俳誌おとふけの常任特選者及び文芸おとふけの編集委員を歴任した。また、俳誌「柏林」の詠み込みの選等に従事するなど音更町の文化の発展に大きく貢献された。
団体	泉会 代表 片野 祐子 昭和 45 年 5 月設立	会の設立以降、華道の技術向上に努めるとともに、永きにわたり生涯学習フェスティバル、大地展や町文化祭に作品を出品している。また、地域行事に迎え花の提供を行い、地域文化活動の推進に大きく貢献された。
団体	木野民謡会 代表 清水 直教 昭和 39 年 4 月設立	会の設立以降、研修会を定期的実施し、技術向上に努めるとともに、永きにわたり福祉施設との交流会、高齢者施設でのボランティア活動及び町文化祭等の地域行事に参加するなど地域活動に大きく貢献された。

② 文化奨励特別賞：(音更町の文化の振興発展に貢献し、その功績が特に顕著な個人又は団体を表彰)

	氏 名 (年齢)	表 彰 事 由
団体	音更町文化協会 文芸おとふけ編集部会 部会長 米谷 壽美子 昭和 40 年 10 月設立	昭和 43 年、北海道開道 100 年を契機に文化協会内に編集委員会 (平成 27 年度から部会制に機構改革) を組織し、企画から校正までの主体的な編集を旨とする「文芸おとふけ」を創刊した。それ以来、創作、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳、詩、郷土史等多岐にわたる町民からの投稿により、200 ページを超える出版物となり、町民の文芸活動の一翼を担ってきた。このたび、長い歴史を刻み 50 号の発刊を迎えることは、町民文芸誌編さんの範となる貴重な活動であり、音更町の文化の普及振興に大きく貢献された。

イ 音更町スポーツ賞等

[音更町のスポーツの分野において優秀な成績を収めた者及びスポーツの振興に寄与した個人又は団体を表彰]

① スポーツ賞（全国・全道規模の大会で優秀な成績・記録を収めた個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
阿部 心哉	15	緑南中学校	スピードスケート
上野 静紅	15	共栄中学校	陸上
上山 怜来	12	柳町小学校	バドミントン
梅本 詩菜	14	緑南中学校	チアリーディング
片山 美生	14	共栄中学校	チアリーディング
高橋 飛那乃	14	緑南中学校	チアリーディング
古田 依沙	15	緑南中学校	チアリーディング
谷内田 くるみ	15	音更中学校	チアリーディング
大柳 幸佑	13	下音更中学校	スピードスケート
小野寺 絢美	15	緑南中学校	陸上
白井 大介	17	足寄高等学校	弓道
関口 愛香	13	下音更中学校	アイスホッケー
中村 詠美	17	帯広南商業高等学校	陸上
林 海玖	18	帯広農業高等学校	スピードスケート
福田 耕太郎	12	下音更小学校	剣道
松村 悠花	14	共栄中学校	トランポリン
三浦 萌依	14	音更中学校	水泳
水戸 咲良	15	共栄中学校	スピードスケート
渡辺 倫永	10	木野東小学校	柔道

② スポーツ奨励賞（全国・全道規模の大会で上位入賞、十勝大会で優秀な成績）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
竹成 紗和	18	帯広緑陽高等学校	ソフトテニス
松井 一葉	17	帯広農業高等学校	陸上
三樹 圭亮	18	帯広大谷高等学校	柔道
吉田 和輝	17	江陵高等学校	柔道

③ スポーツ功労賞（本町におけるスポーツの普及振興に貢献のあった個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
五十嵐 利三	70	音更剣道連盟	剣道

(4) 研修会等への参加の状況

教育委員会では、各種研修会に参加し、他市町村教育委員会との情報交換や、研修に努めているほか、教育行政に関する調査・研究を行っています。

平成 30 年度は、北海道市町村教育委員研修会に参加し、子どもを取り巻く現状や課題について学ぶとともに、教育委員の役割について理解を深めています。また、北海道立子ども総合医療・療育センターを視察し、胎児期から一貫した医療・療育を総合的に提供する専門施設の機能や課題などについて情報を得ています。

年月日	場 所	研 修 会 等	参加者
30. 7. 11 ～12	札幌市	北海道立子ども総合医療・療育センター 第 55 回北海道市町村教育委員研修会	5 名 (事務局 1 名 を含む)
30. 11. 28	帯広市	十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	5 名

(5) 学校訪問の状況

教育委員会では、教育長、教育委員全員と事務局職員の合わせて 8 名で町内全小中学校を訪問し、それぞれの学校の取組について実情把握に努めています。(1 校当たり 1 時間～1 時間 30 分前後)

校長から学校経営の重点及び懸案事項の説明を受けた後、授業参観を行い、子どもたちの学びの様子を見学しています。その後、校長・教頭との意見交換を行い、学校運営・教育環境等様々な点について現状と課題を把握し、より良い教育環境の整備に努めています。また、学校訪問の際には、一部の学校において学校給食の試食も行っております。

平成 30 年度は、「異校種間の交流状況」を重点テーマに訪問したほか、各学校におけるいじめや不登校の状況、学力向上や体力向上の取組等について意見交換を行うとともに、教職員と教育委員の顔合わせとして、職員室において教育長からの挨拶と各教育委員の自己紹介等を行い、交流を図っております。

訪問年月日	訪 問 学 校 名
30. 6. 22	音更小学校、音更中学校、東土狩小学校
30. 6. 27	駒場小学校、駒場中学校
30. 7. 2	木野東小学校、緑南中学校、下土幌小学校
30. 7. 9	緑陽台小学校、共栄中学校、柳町小学校
30. 7. 19	鈴蘭小学校、昭和小学校
30. 8. 22	南中音更小学校、西中音更小学校、東土幌小学校
30. 8. 30	下音更小学校、下音更中学校

(各種学校行事等)

小中学校の入学式・卒業式に教育長をはじめ各教育委員が出席するほか、運動会・体育祭への訪問等を行っています。

(6) 町民への情報提供の状況

教育委員会では、教育に関する制度や手続、行事等の周知を図るために、様々な情報を提供しています。

今後もホームページや町広報紙等を活用し、情報提供の方法を工夫しながら、より一層わかりやすく様々な情報を提供していく必要があると考えています。

ア 広報紙の活用

毎月発行している広報「おとふけ」で教育に関する各種情報の提供に努めました。

(主な掲載情報)

- ・「生涯学習のまど」〇〇JCオープンカレッジ等の各種講座の紹介
- ・「図書館通信」新着・おすすめ図書を紹介、図書館行事のお知らせ
- ・その他（小規模特認校の特集紹介等）

イ ホームページの活用

ホームページの管理・運営を通じて、教育委員会の活動を町民にお知らせしています。

(主な掲載情報)

- ・音更町の教育目標
- ・音更町の教育行政執行方針
- ・小中学校ホームページ
- ・学校教育関係（区域外就学、就学援助等）
- ・社会教育関係（施設の紹介・空き状況/予約、生涯学習等）
- ・図書館（蔵書検索）
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書
- ・定例の教育委員会会議の開催案内と会議結果（要旨）
- ・社会教育委員協議会等の審議会の会議結果（要旨）

(7) 教育委員会の組織

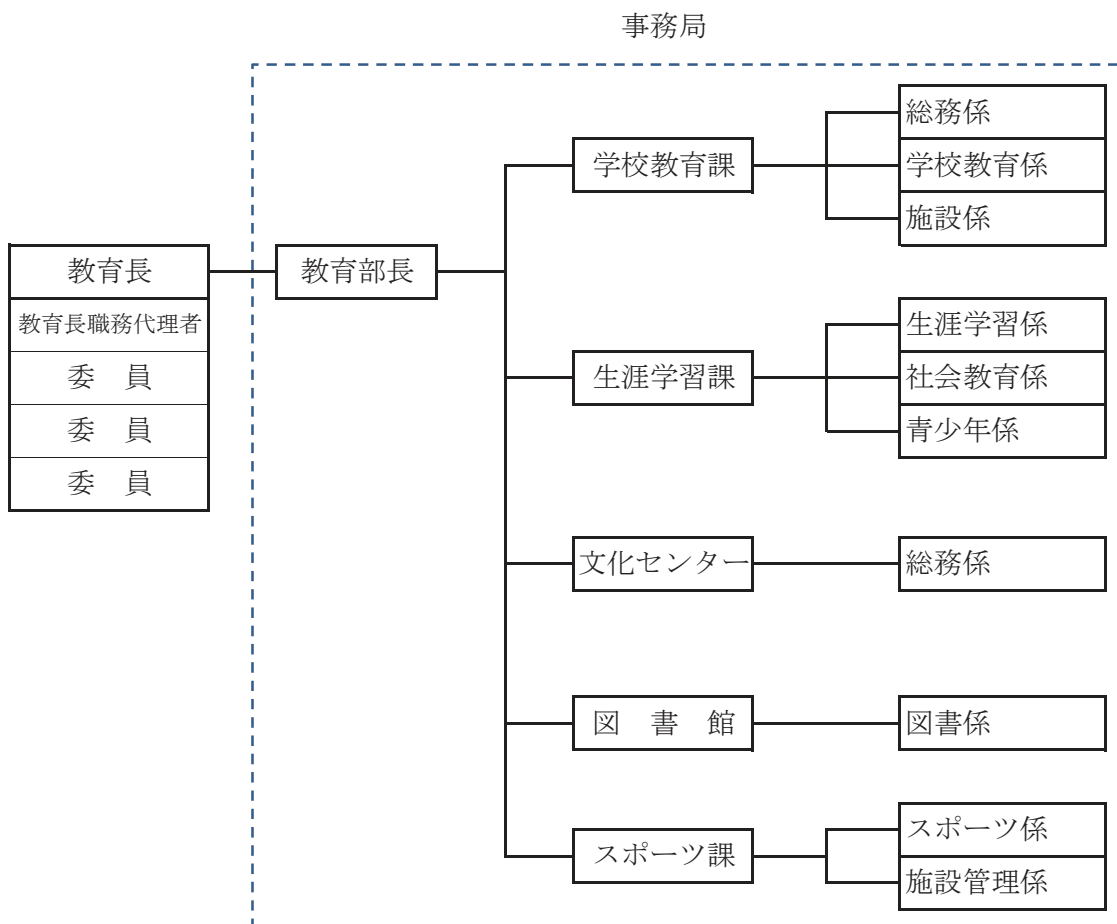
教育委員会

(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	就任日	期数	現任期満了日
教育長	宮原達史	平成27年4月1日	2期目	令和3年3月31日
教育長職務代理者	田中義博	平成16年11月2日	4期目	令和2年11月1日
委員	石川秀朗	平成22年1月20日	3期目	令和4年1月19日
委員	種川健	平成27年11月5日	1期目	令和元年11月4日
委員	川井麗子	平成28年11月2日	2期目	令和4年11月1日

教育委員会の組織

(平成31年4月1日現在)



2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

音更町教育委員会では、教育行政執行方針において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけ、それらを活用できる学力を育むことが重要であると捉え、学校と家庭が連携して、「生きる力」の基盤となる確かな学力を推進していくこととしております。その取組を進める上で、子どもの学力の傾向を把握して課題を捉えるために、平成30年度も全国学力・学習状況調査に参加し、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学のほか理科についても悉皆調査を行っております。さらに、児童・生徒質問紙についてのクロス集計も行い、その分析結果を活用しています。

① 児童生徒の学力の現状と課題

平成30年度調査の分析・考察

【小学校】

<総評>

国語Bは全国平均を上回り、その他は下回る結果となったが、国語A・算数B・理科においては、差がほとんどない。また、昨年度は国語・算数とも全国平均を大きく下回っていたが、今年度は理科を含めて全国平均に近い結果となっている。

<領域・観点・問題形式>

- 国語Aは、いずれの領域・観点も全国平均とほとんど差異のない正答率となった。ただ、ことばや同意味の漢字を選択する問題の無回答率が高かった。
- 国語Bは、ほとんどの領域・観点を全国平均とほぼ同様、もしくは高い正答率となったが、考えをまとめて書く問題の正答率が低かった。
- 算数Aは、全領域において全国平均を若干下回った。中でも単位量や割合を求める問題の正答率が低かった。
- 算数Bは、「量と測定」「図形」で全国平均を上回ったが、「数と計算」「数量関係」で下回った。グラフから読み取れることを選択する問題や示された数量を関連付け根拠を明確にして記述する問題の正答率が低かった。
- 理科は、「生命」「地球」で全国平均を上回ったが、「物質」「エネルギー」で下回った。物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を水に溶かして体積が増えた食塩水に適用して全体の重さを選択する問題の正答率が大きく下回った。

【中学校】

<総評>

すべての教科において、全道・全国を上回る結果となっている。また、ここ数年、数学A・数学Bは全国平均を上回っており、全国との差を少しずつ広げてきている。

<領域・観点・問題形式>

- 国語Aは、漢字の書き取りが全国よりもかなり下回っていた。しかし、適切な語句を選択する問題では、高い正答率であった。

- 国語Bは、「話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く」問題以外は全国の正答率を上回る正答率であった。
- 数学Aは、絶対値の意味を理解している問題を含め、8つの問題で全国を下回った。ただ、1次関数や回転移動、確率の問題では全国を大きく上回った。
- 数学Bは、ほぼすべての領域で全国よりも高い結果であったが、計算の順序を入れ替える問題のみ下回った。
- 理科は、光の反射の問題を含め、6つの問題で全国を下回った。ただ、10ポイント以上全国を上回る問題も見られた。

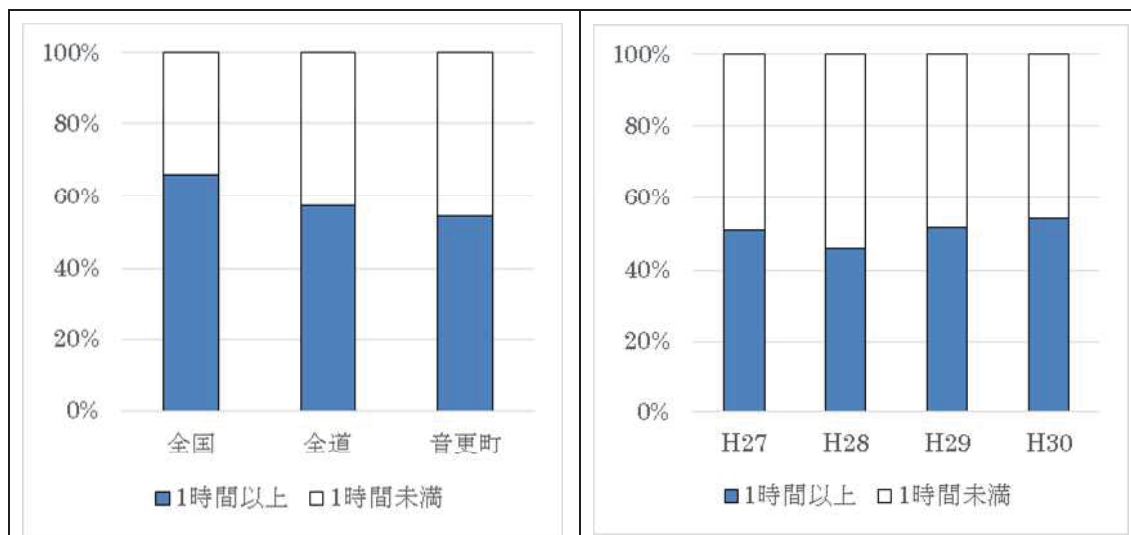
【児童・生徒質問紙】

1. 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

【平成30年度】

【経年変化】

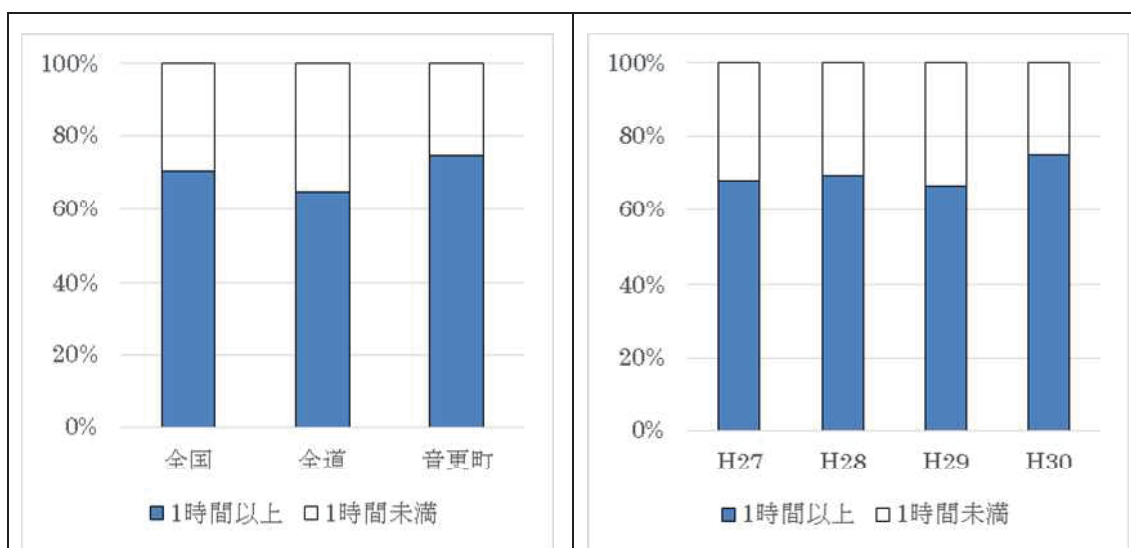


「1時間以上勉強している」という回答が半数を若干上回っている。経年比較では、「1時間以上勉強している」という回答は徐々に増えてきているが、全国・全道も同様に伸びており、全国・全道よりも依然として下回っている。なお、音更町6年生児童の32.4%が、「30分以上、1時間より少ない」と回答している。

<中学校>

【平成30年度】

【経年変化】



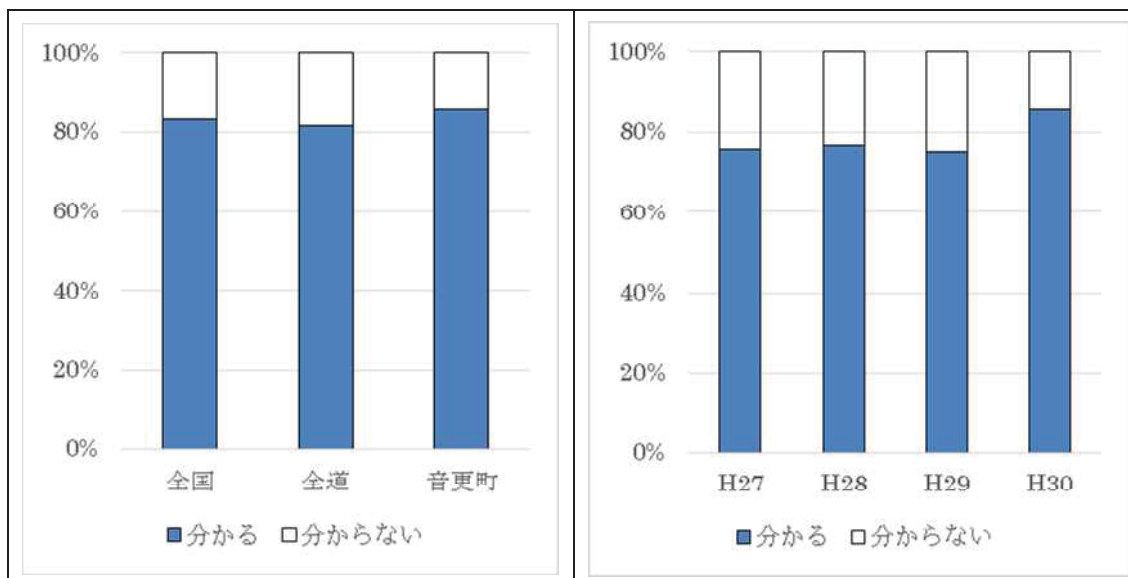
全体の74.9%が「1時間以上勉強をしている」と回答している。その内訳は、全体の35.5%が「1時間以上、2時間未満勉強をしている」と回答。また、全体の10.7%が「3時間以上勉強をしている」で全国、全道を上回った。経年比較では、「1時間以上勉強をしている」と回答した割合が昨年より8.2%増え、家庭での学習習慣の定着は上向き傾向にある。

2. 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

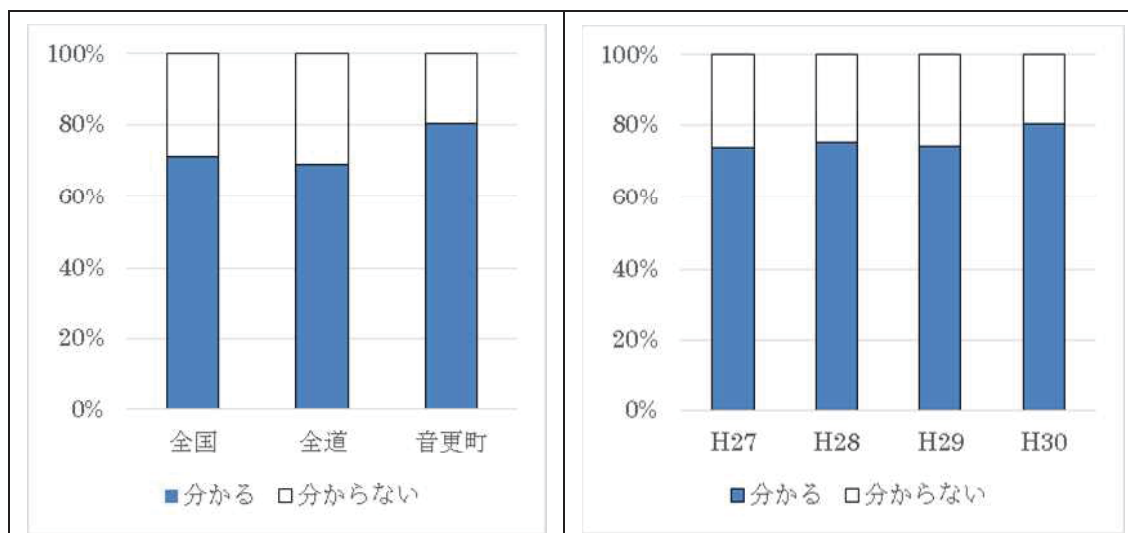


「分かる」と回答した割合は全国・全道を上回った。経年比較では、ここ数年 75%付近で同程度であった「分かる」の回答率が 86%を超え、前年度を 10%以上も上回り大幅な伸びが見られた。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



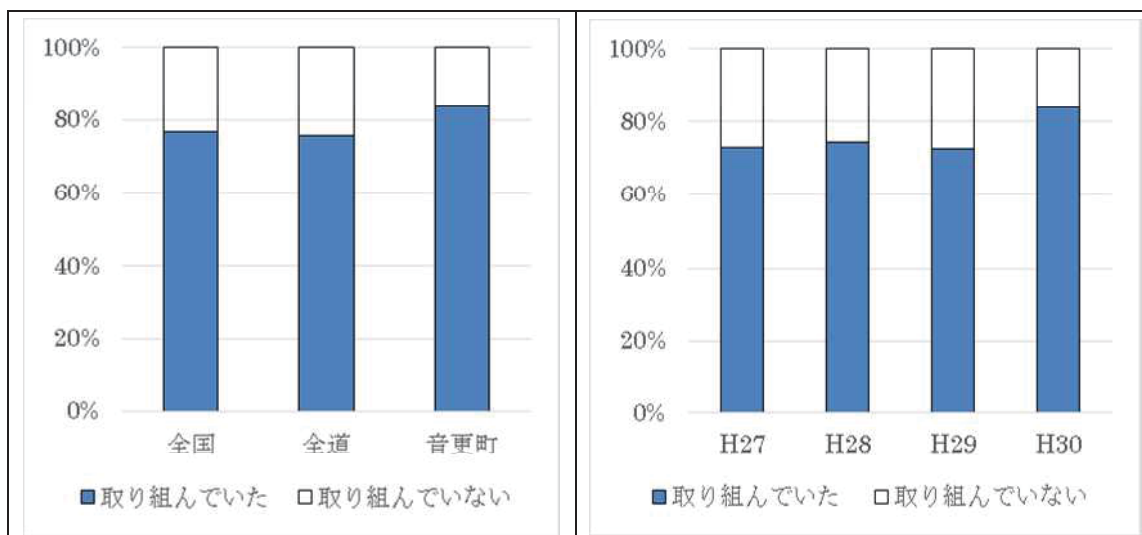
「分かる」と回答した割合は、全国より約 9 ポイント、全道より 11 ポイント上回る。その中でも「どちらかといえば、当てはまる」という回答率は全国・全道とほとんど差がないが、「当てはまる」という回答は 39.6%で、全国・全道を大きく上回った。経年比較では「分かる」と回答した率が 80%となり、昨年を 5 ポイント以上上回った。

3. 昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
 ※グラフの「取り組んでいた」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

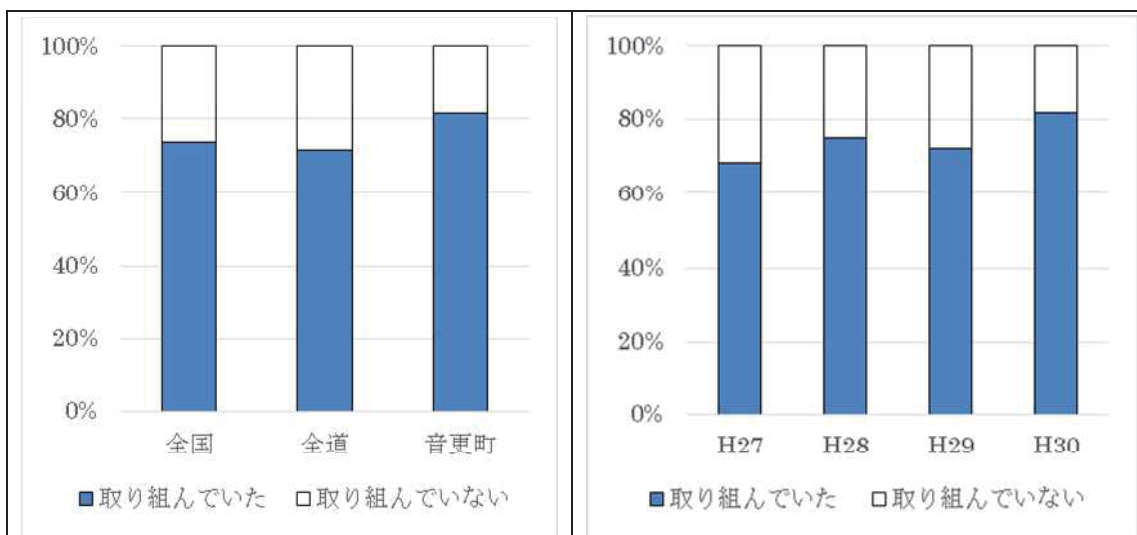


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、全国より約 7 ポイント、全道より 8 ポイント上回る。経年比較では、ここ数年 72～74% 台であった「自分で考え、自分から取り組んでいた」の回答が 83% 以上となり、昨年を 10 ポイント以上上回った。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



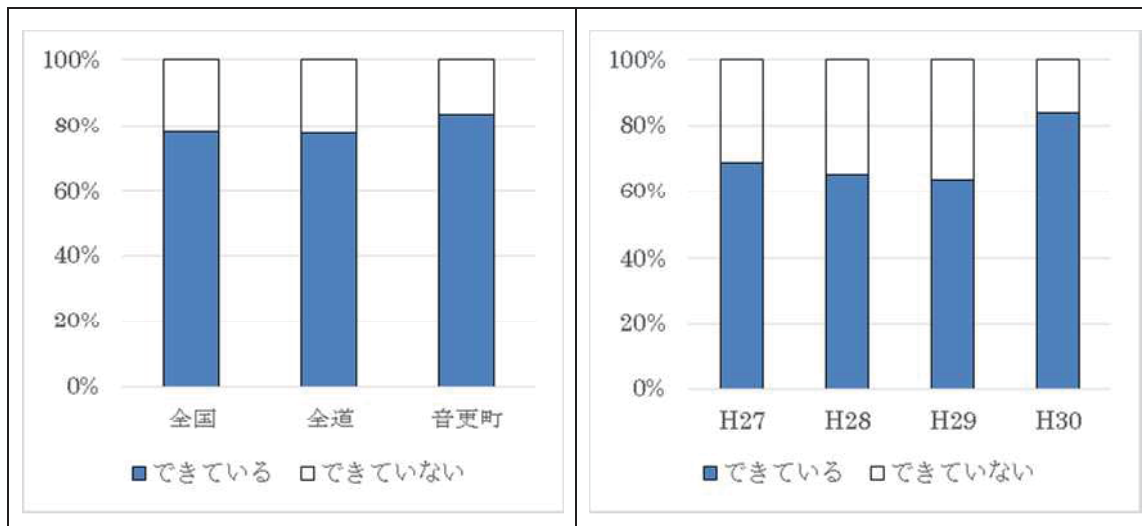
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、全国より約 8 ポイント、全道より約 10 ポイント上回る。経年比較では、ここ数年 68～75% 台で変動していた「自分で考え、自分から取り組んでいた」の回答が 81% 以上となり、昨年を 9 ポイント以上上回った。

4. 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
 ※グラフの「できている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

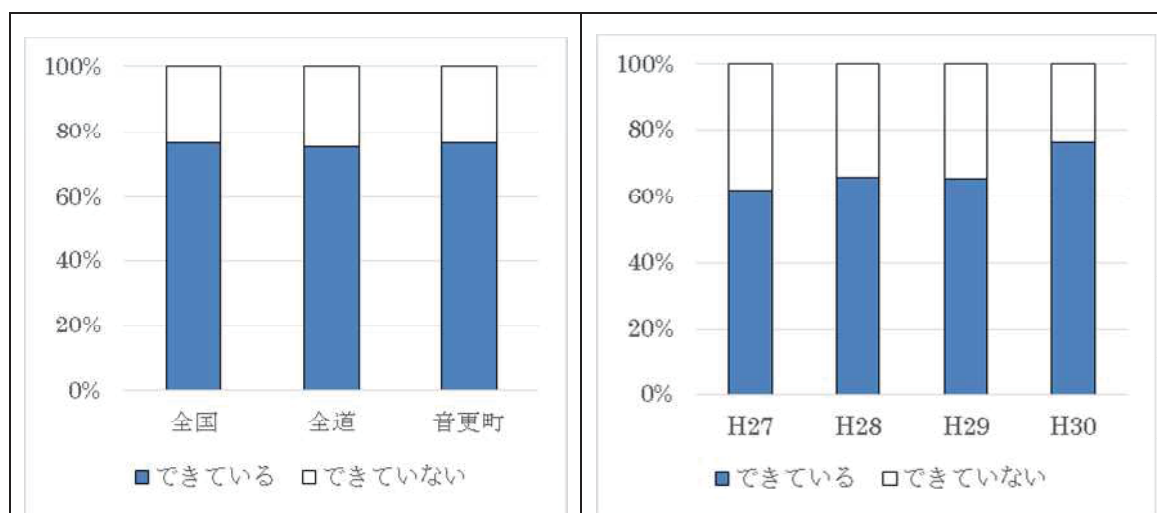


「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は、全国・全道を約6ポイント上回る。経年比較では、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という回答は、ここ数年68%から63%台へと下降気味であったが、今年度一気に83%以上となり、大幅に上昇へと転じた。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は76.3%で、全国・全道とほぼ同様となった。経年比較では、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という回答はここ数年62～65%台であったが、今年度はこれまでより10ポイント以上上回った。

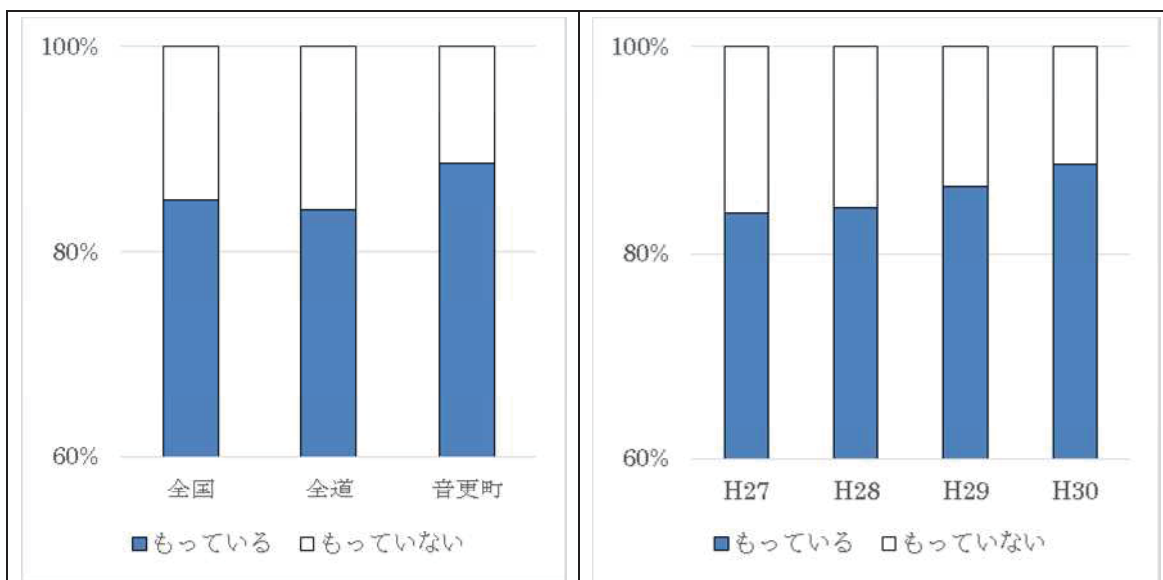
5. 将来の夢や目標をもっていますか。

※グラフの「もっている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

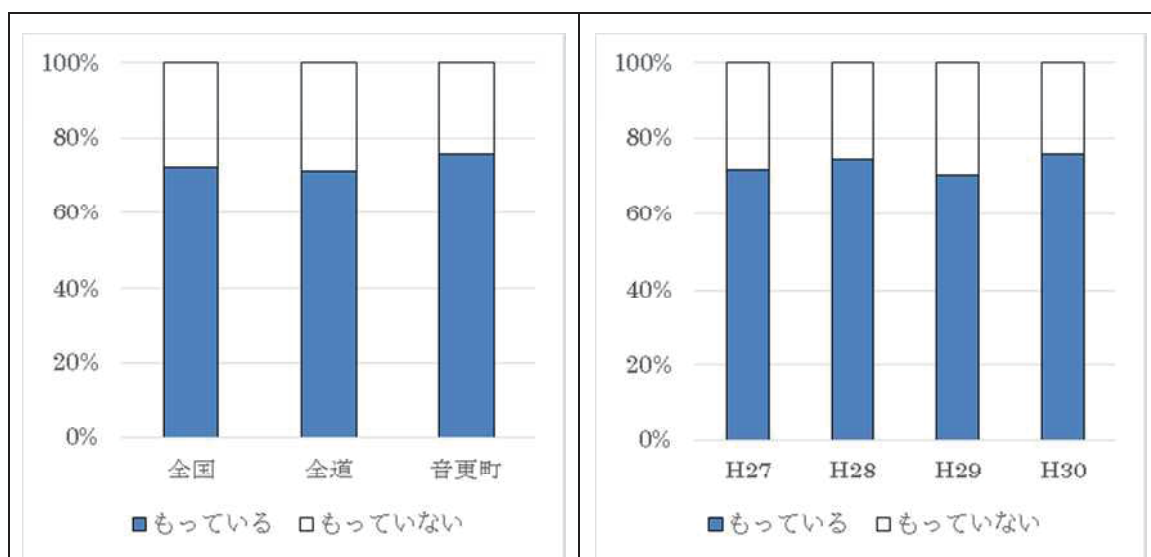


「将来の夢や目標をもっている」と回答とした割合は、全国より約4ポイント、全道より約5ポイント上回る。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答はここ数年徐々に上昇し、3年前より約5ポイント高くなった。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は全国より約3ポイント、全道より約4ポイント上回る。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答はここ数年70~74%台で変動していたが、今年度は75.7%となり、最も高くなった。

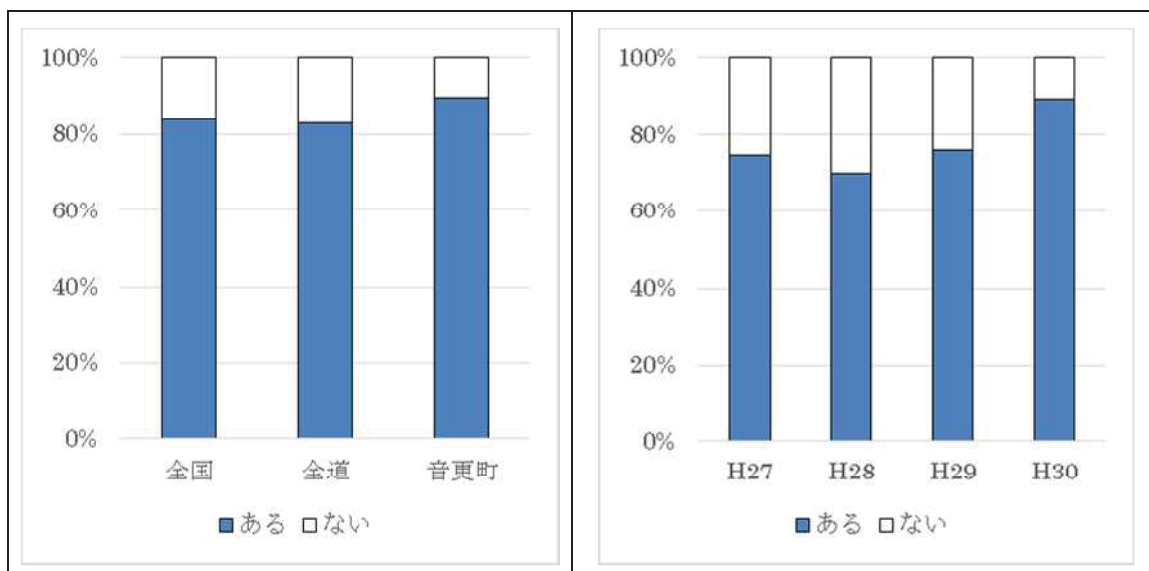
6. 自分には、よいところがあると思いますか。

※グラフの「ある」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

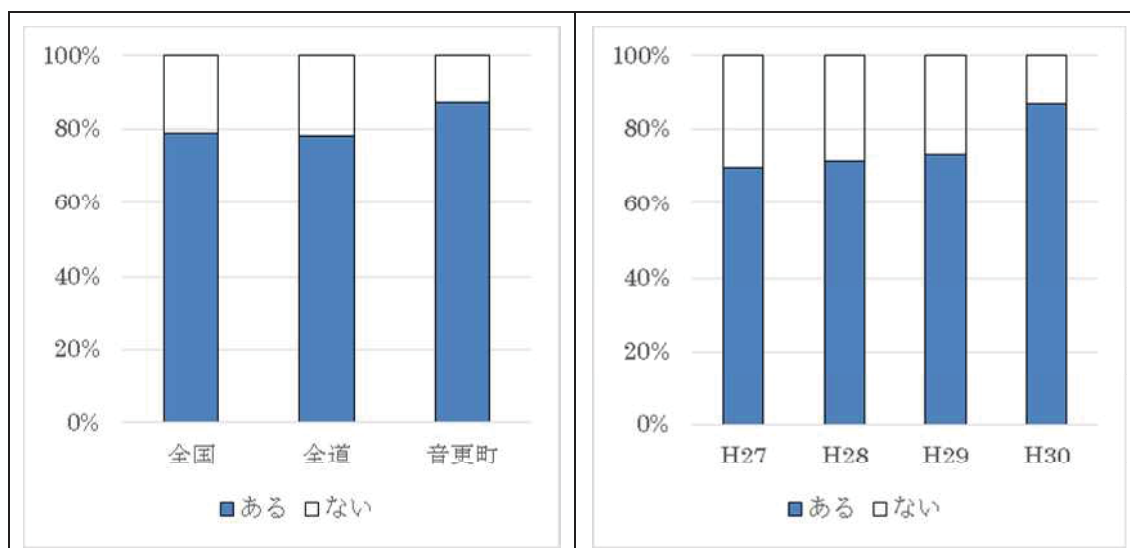


「自分には、よいところがある」と回答した割合は約 89.5%で、全国・全道を 5 ポイント以上上回った。経年比較では、「自分には、よいところがある」の回答は、昨年度より 13 ポイント上回り、自尊心の高まりに大きな前進があると推測される。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



「自分には、よいところがある」と回答した割合は約 87.4%で、全国・全道を 8 ポイント以上上回った。経年比較では、「自分には、よいところがある」の回答は、昨年度より 14 ポイント上回り、小学校の結果と同様に自尊心の高まりに大きな前進があると推測される。

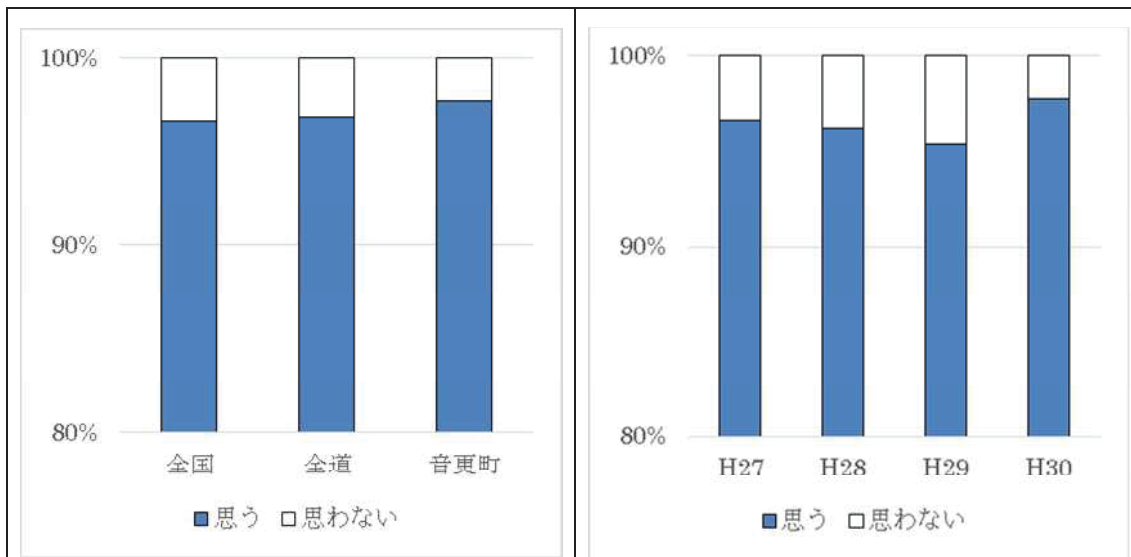
7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

※グラフの「思う」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】

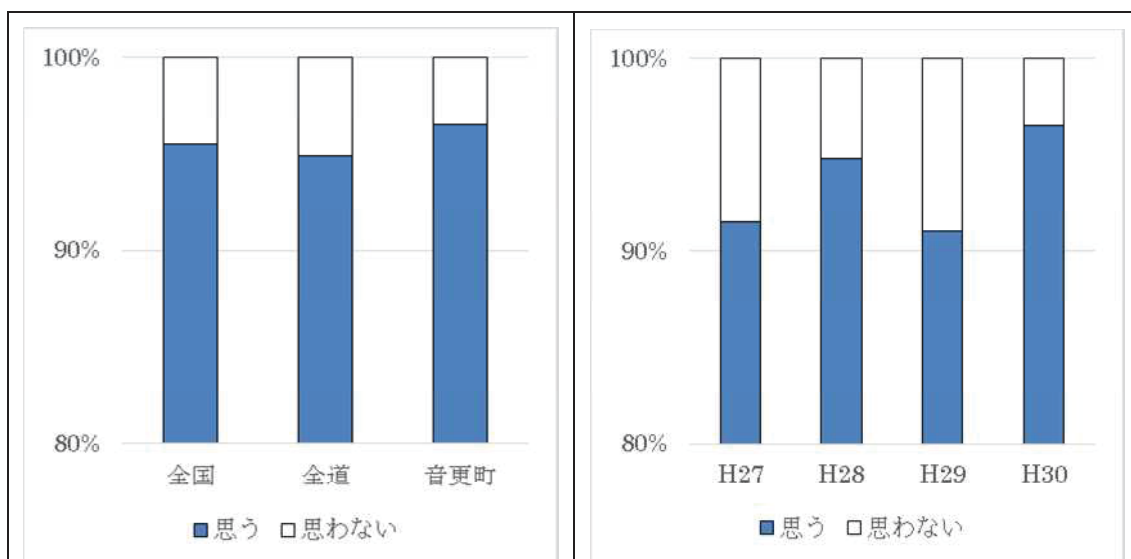


「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合が、全国・全道・音更町ともに約96～98%となっており、音更町が若干上回っている。経年比較では、「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合が、昨年度よりも高くなっており、100%が目前となっている。

<中学校>

【平成 30 年度】

【経年変化】



「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合が、全国・全道・音更町ともに95%前後となっており、音更町が若干上回っている。経年比較では、「いじめはどんなことがあってもいけないこと」と回答した割合は、隔年で増減しているが、今年度はこの4年間で最も高い割合となった。

【クロス集計分析】※各教科の正答率と児童生徒用質問紙の調査結果をかけ合わせて集計・分析したもの

- 「算数・数学、理科の勉強が大切だ、わかる」の問いに「当てはまる」と回答した児童生徒の算数・数学、理科の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。特に、小中学生の算数・数学B問題において顕著であった。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」に「当てはまる」と回答した児童生徒の国語、算数・数学、理科の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。
- 「朝食を毎日食べる」「毎日同じ時刻に寝ている」の問いに対して「当てはまる」と回答した児童生徒の国語、算数・数学、理科の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。
- 「学校のきまり（規則）を守っていますか」という問いに対して「当てはまる」と回答した児童生徒の国語、算数・数学、理科の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。特に中学校数学、理科において15ポイントから20ポイント高い結果が見られた。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という問いに対して「当てはまる」と回答した児童生徒の国語、算数・数学、理科の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。

② 学力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

1. 全国学力・学習状況調査の分析と検証を行い、「学力の傾向と改善のポイント」としてまとめ、学習指導の改善や学習意欲の向上に資する基礎資料を提示
2. 特別支援教育の推進のため、特別支援教育学習支援員は、平成30年度は30名から2名増員し、32名を配置、複式教育学習支援員は平成25年度から2人を配置
3. 35人を超える学級を有する小学校に対し、平成28年度から町費負担の臨時教諭を配置。平成30年度は9名を配置
4. 教育相談や各種指導助言業務、学校と教育委員会の連携のため、教育推進員2名を配置
5. 指導方法工夫改善事業、少人数学級実践研究事業（小2・中1）等を活用し、教員の加配等による学習環境の向上を実施
6. 教職員の資質の向上を図るため、教職員研修（校内研修、道内研修、実践指定校事業）への補助と研修の充実
7. 「家庭学習のすすめ」、「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒及び家庭に配布
8. 学級文庫を小学校6校に配置し、夏・冬休みに本の入替を実施、また、移動文庫として小学校7校に出向き、毎月本の入替と低学年を対象とした読み聞かせを実施
9. 退職校長会と連携し、長期休業中（夏季・冬季）に「熟年先生から学ぼう講座」を実施
10. 小中学校のPC教室と実物投影機の計画的な整備

◆学校の主な取組

1. 全国学力・学習状況調査やCRT（標準学力検査）の分析結果に基づく学校改善プランの作成と組織的な取組の推進
2. 分かる授業（課題提示とまとめの時間の確保）を目指す授業改善
3. 特別に配慮を要する児童生徒等に対する補足的な学習サポートや習熟度別指導の充実
4. 加配教員、臨時教諭及び学習支援員等による学習指導の充実

5. 教職員の資質の向上を図るため、校内研修の充実と各種研修への積極的な参加
6. 宿題や家庭学習専用ノートの活用による家庭学習の充実
7. 「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の啓発
8. 幼保・小・中の円滑な接続による学びの連続性の確保

◆**家庭や地域との連携**

1. 保護者及び地域住民に対する学習の機会及び情報の提供
2. 学校と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」などによる基本的な生活習慣の定着と学習習慣の確立
3. リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動

(2) 健やかな体の育成

体力とは、人間の発達・成長を支え、体を動かす原動力であると同時に、健康を維持する上でも必要なものです。また、体力は知力や意欲・気力といった精神面の充実にも大きく関わっており、体力は「生きる力」の重要な要素の一つとなります。その取組の一つとして、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を、小学校5年生と中学校2年生を対象に、悉皆調査を実施しております。また、調査結果を分析・考察した結果を活用して、本町児童生徒の体力・運動能力向上を推進しております。

① 児童生徒の現状と課題

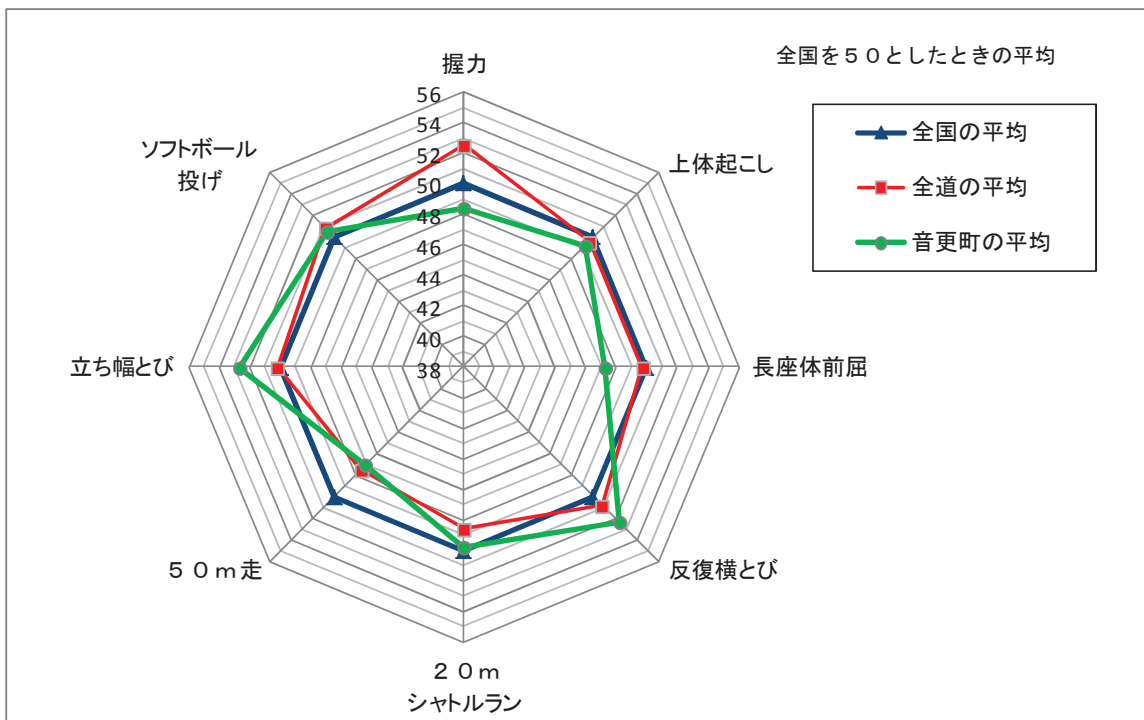
平成 29 年度調査の分析・考察

【小学校5年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、全国平均を下回ったが、全道平均にかなり近づく結果となった。
- 各種目では、「立ち幅跳び」が前年度に引き続き、全国・全道の平均値を約6cmも上回る結果となった。また、前年度（H28年）課題の「20mシャトルラン」は全道平均を超え、全国にあと一回となっている。
- 課題としては、「長座体前屈」「50m走」であり、全国・全道平均を下回る結果となった。特に「50m走」は前年度に引き続き、課題の残る種目となった。また、前年度全国を上回っていた「握力」については、今年度は下回っている。
- 小学校男子の課題として、「柔軟性」と「体幹」「持久力」の向上を目指した指導法の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度は全国平均を下回っていた「運動部への所属」が平成29年度はさらに大きく下回った。「体力に自信がある」の項目で全国・全道を下回ったが、運動の必要性や体力向上への意識は高体育の授業を楽しんでいる子どもも多い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

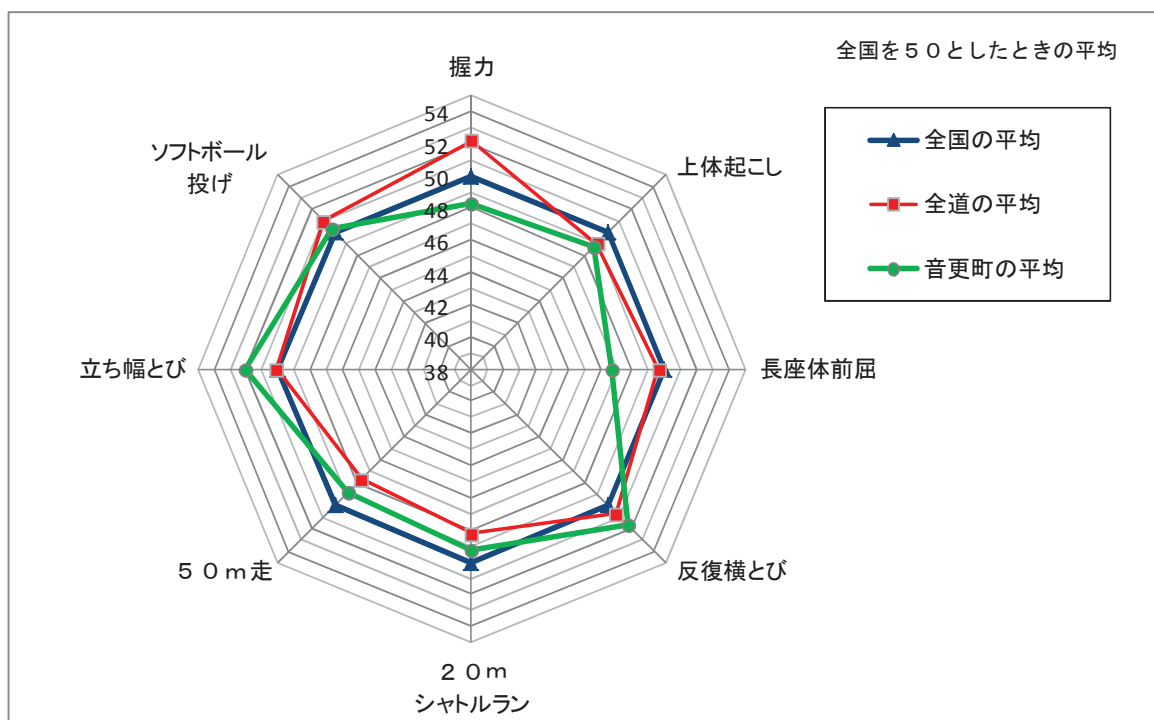


【小学校5年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H28）同様、全道平均に近づいてきた。
- 各種目では、「立ち幅跳び」が、前年度に引き続き、全国・全道を上回った。新たに「反復横跳び」も全国・全道を上回る結果となった。また、前年度課題となった「20mシャトルラン」は全道平均を超え、全国にもあと一回となっている。
- 課題は、「長座体前屈」である。昨年度は1～2cmの差だったのが、今年度は2～3cmとさらに大きく下回る結果となっている。前年度全国を上回っていた「握力」が下回るなど、男子と同じ傾向が読み取れる。
- 小学校女子の課題として、「柔軟性」と「握力・筋力」の向上を目指した指導法の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度は全国平均を下回っていた「家の人からの運動のすすめ」が、今年度は上回り、ほとんどの項目で全国平均を上回る結果となった。特に「家の人からの運動のすすめ」「体力に自信がある」の項目は、全国・全道平均を上回る結果となり、積極的に運動しようとする意欲の高さがうかがえる。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



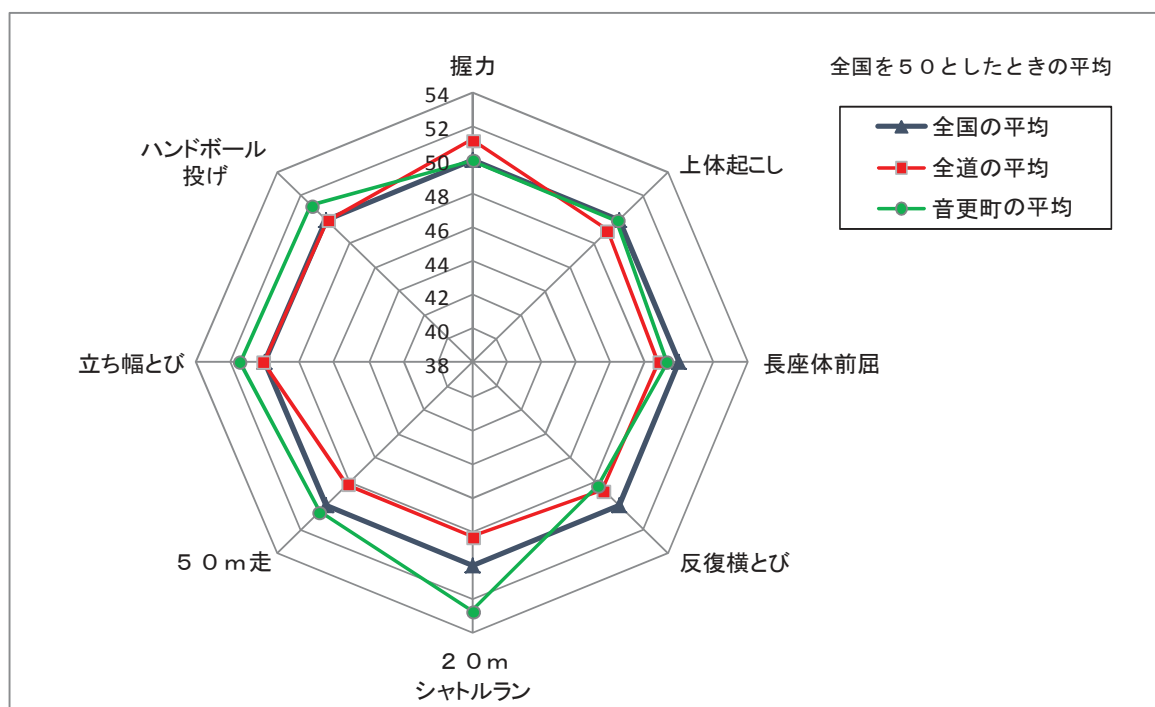
【中学校2年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H28年）同様、全国平均は下回っているが、全道平均は上回っている。各種目の平均が全国平均により近づき、全国平均を上回っている種目も見られる。
- 各種目では、「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は全国・全道平均を上回り、良い傾向にある。また前年度、全道平均を下回っていた「上体起こし」「長座体前屈」が全道平均を上回ったことは注目すべきところである。
- 課題は、「反復横跳び」「握力」であり、全国・全道平均をわずかに下回った。

- 中学校男子の課題として、「敏捷性」の向上をめざした指導法の充実が必要である。
- 生徒質問紙では、「保健体育の授業は楽しい」「運動が好き」と答えた生徒が多いことから、指導と体力向上の結びつきが見て取れる。また、「家の人からの運動のすすめ」が高いことから、家庭における運動習慣に対する意識もかなり高いことがわかる。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

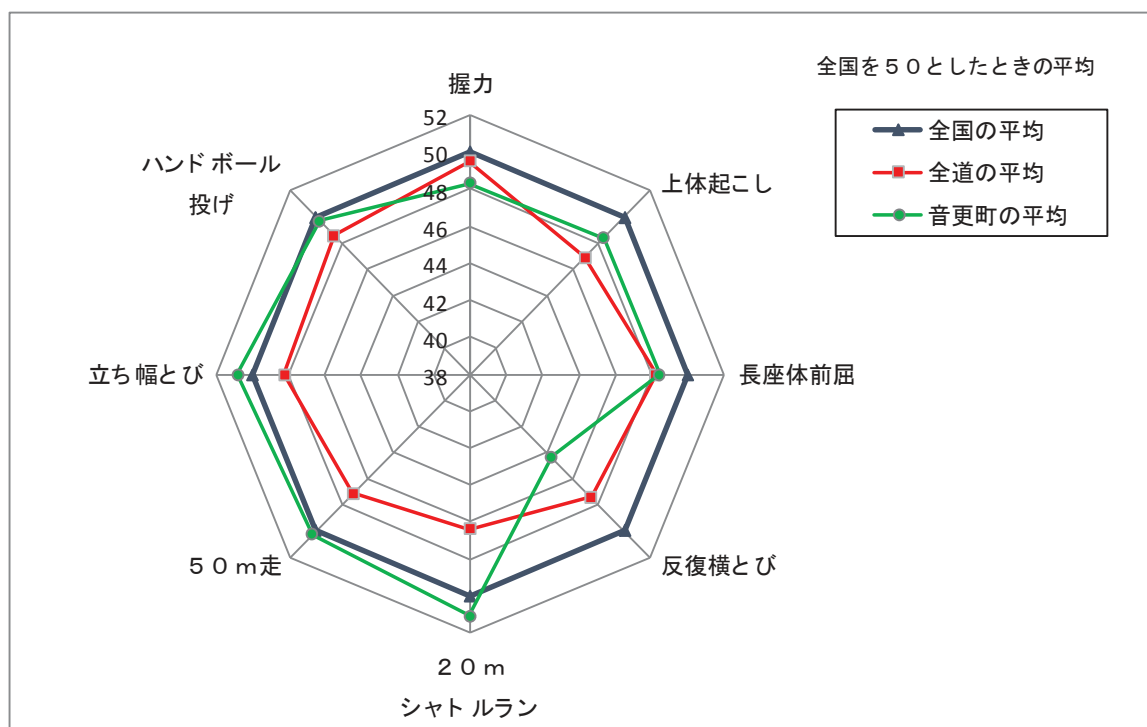


【中学校2年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度 (H28年) 同様、全道平均は上回っているものの、全国平均は下回っている。
- 各種目では、「20mシャトルラン」「50m走」が全国・全道平均を上回った。また、「上体起こし」「立ち幅とび」が昨年度と比べるとポイントを上げた。
- 課題は、「握力」「反復横跳び」であり、全国・全道平均を下回る結果となった。特に「反復横跳び」は、昨年度以上に全国・全道平均を大幅に下回る結果となった。
- 中学校女子の課題として、「筋力」「敏捷性」の向上をめざした指導法の充実が必要である。
- 「運動が好き」「体力には自信がある」の項目は、全国・全国平均を大きく上回る結果となっており、運動が好きで、その結果体力にも自信をもっている。また、男子と比べると女子の運動部への加入割合が低く、全国・全道平均を下回っている。「体育科の授業は楽しい」「家の人からの運動のすすめ」がともに全国・全道平均を上回っていることから、個々の生徒に必要な運動を学校や家庭においても意識的に推進する環境づくりが整っている。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



②体力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

1. 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実等、学校への支援
2. 全国・体力運動能力、運動習慣等調査の分析結果を、体力向上の基礎資料として提示
3. 体育専科教員の加配による体育授業の充実
4. 体力づくり、健康づくりの振興（スポーツライフ、各種スポーツ教室、各種スポーツ大会の開催）
5. スポーツ指導者、リーダーの育成
6. スポーツの奨励及び顕彰（スポーツ大会参加補助、スポーツ賞等表彰）
7. 町内スポーツ施設の整備充実
8. 地産地消と食育の推進のため、おとふけ給食などを実施

◆学校の主な取組

1. 「年間指導計画」に基づく学校全体の体力づくりの推進
2. 体育的行事を通じた体力づくりの充実
3. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果を活用した組織的な体力向上の取組
4. 体育（保健体育）の授業改善による基礎体力の向上と課題克服に向けた取組の充実
5. 「体力づくり一校一実践」や「どさんこ元気アップチャレンジ」の取組
6. 少年団活動や部活動の加入の奨励と運動習慣の確立
7. 「年間指導計画」に沿った食に関する指導の充実（栄養教諭の活用）

◆家庭との連携による体力づくりの推進

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着と、帰宅後の生活習慣の改善に努め、リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動
2. 運動習慣の大切さに対する意識を高め、自ら運動への関心・意欲を高める工夫
3. 食育の推進等により、望ましい食習慣を身に付け、健康的な生活習慣を形成

(3) 豊かな心の育成

子どもたちの健やかな成長と心豊かな未来のためには、自立し、共に支え合いながら、善悪の判断・人を思いやる心・命や自然を大切に作る心・ふるさとを愛する心などを育成することが大切であります。このため、いじめや不登校などの問題については、教育活動全体を通じての指導や道徳教育の充実、学校、家庭、教育委員会などが連携した取組が必要です。

① いじめ・不登校の現状と課題

<いじめ>

平成29年3月に国の「いじめ防止等のための基本方針」等が改定されたことに伴い、平成30年には、町や各学校の「いじめ防止基本方針」を改定し、各学校においていじめ防止のための対策を進めています。

それら対策のうちの一つである、いじめに関するアンケート調査では、いじめの全貌を把握することは難しいという認識の下、児童生徒が「嫌な思い」を感じている場合についても、いじめとして認知する必要があるということから、「いじめ」を「嫌な思い」という表現にしています。

平成30年11月に実施したいじめに関するアンケート調査では、「4月以降に、仲間はずれや無視、たたかれる、悪口を言われる等々の嫌な思いをしたことがある」と答えた小学生が542件、中学生では79件となっており、「嫌な思いは今でも続いている」と答えた小学生の事例が195件（平成29年度は144件）、中学生の事例が22件（平成29年度は19件）となっています。これらの事案については、各学校において教育相談を実施しており、3月までに解消しています。

また、「いじめはどんな理由があっても許されない」と回答している児童生徒は、約81%（平成29年度は81%）で、前年度と同じ割合でした。

<不登校>

平成30年度における不登校の状況は、小学生18名（平成29年度は6名）、中学生51名（平成29年度は55名）の合計69名（平成29年度は61名）であり、中学生は中学校の取組により減少していますが、小学生においては増加しています。そのうち、適応指導教室（ふれあい教室）への通級者は、小学生1名、中学生9名の合計10名で、前年度と同様に利用者が通級しています。

不登校の要因や背景は、保護者等の生活環境状況も含め複雑・多岐にわたっており、解消のためには、関係機関等との連携による相談・支援が重要であります。相談等を受けずに不登校が長期間続いている児童生徒もいることが大きな課題となっています。

② いじめ・不登校未然防止の取組

いじめは「どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」という意識を持ち、教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」という理解を促し、心の通う人間関係を構築する能力を養うことが必要であります。また、早期発見のためには、学校、家庭が一体となって児童生徒を見守り、ささいな変化に気づくことが必要であります。

不登校については、原因を解決することが難しい場合が多いことから、特定の状況下で起こるのではなく、「どの子どもにも起こりうる」と捉え、未然防止に向けて児童生徒の自己有用感を高め、児童生徒一人一人の居場所のある学校づくりの取組が大切です。

◆教育委員会の取組

1. 「音更町いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の防止等の取組
2. いじめ・不登校の未然防止や根絶を図るため、アンケート調査や心理検査等を実施
3. 学校に対する支援や相談体制の充実（青少年の悩み相談電話、学校教育相談員、教育推進員、心の教室相談員等）
4. 携帯電話やスマートフォンなどのインターネットを通じて行われるいじめの早期発見を図るため、PTA等関係機関と連携し、家庭におけるルールづくりの啓発
5. 適応指導教室（ふれあい教室）による不登校対策
6. 「音更町いじめ問題等対策委員会」による状況の把握及びいじめ防止啓発等の推進
7. 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携体制の充実
8. 保護者、児童生徒及び関係機関を対象とした不登校学習会の開催

◆学校の主な取組

1. 「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期解消の取組
2. いじめ・不登校の未然防止や早期発見のため、定期的に実施するアンケートや心理検査の分析を活用した教育相談や学級経営
3. 教育相談体制の充実と教育相談の実施
4. 道徳の時間などにおいて、共感的な関係を深め、体験的な活動の充実
5. ネットトラブルから児童生徒を守るため、定期的なネットパトロールの実施と情報モラル教育の充実
6. 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携

◆家庭や地域との連携

1. 自尊感情や他人を思いやる心の醸成
2. 家庭だけで悩まず、学校や教育委員会などとの連携
3. 社会教育の充実（地域で子どもを育てる気運）
4. 携帯電話やスマートフォンなどの家庭におけるルールづくり

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価												
文 教 対 策														
1 教 職 員 研 修	教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。 対象教職員 371人 2,951,259円	教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。また、学校内で創意工夫した研修を奨励する「校内研修実践指定校事業」を5校で実施した。今後も教職員の資質向上のため、継続していく必要がある。												
2 教 職 員 健 康 対 策	教職員の健康診断及びストレスチェックを次のとおり実施した。 健康診断受診人数340人 ストレスチェック受検人数296人 5,002,210円 [胸部X線、胃検査、血圧検査、尿検査、血液検査 心電図検査、聴力検査、身体総合検査]	教職員の健康診断を帯広徳州会病院に委託して実施した。1日当たりの受入れ人数に制限があるため（1日5人程度）、長期間に渡って実施している。また、平成29年度から、メンタルヘルス不調の未然防止やストレスへの気づきを促すため、教職員のストレスチェックを実施している。長期休業期間中に多くの教職員が受診できるよう日程を調整し、継続して実施する必要がある。												
3 教育の日推進事業	音更町の教育の充実と発展を図るため、次のとおり実施した。 事業費397,113円 記念フェスタの参加者535人	おとふけ「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することで、町民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施した。 教育に関する取組を紹介することで、関心を高める機会となっている。例年、講演会や教育活動報告は好評であり、今後も継続していきたい。												
4 教材教具の整備	小中学校の教材教具を次のとおり整備した。 (単位 円) <table border="1" data-bbox="465 967 992 1142"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>整備額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>13</td> <td>13,327,894</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>3,514,922</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>16,842,816</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	整備額	小学校	13	13,327,894	中学校	5	3,514,922	計	18	16,842,816	新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校要望を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。 また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。今後も、計画的に教材教具を整備していく必要がある。
区分	学校数	整備額												
小学校	13	13,327,894												
中学校	5	3,514,922												
計	18	16,842,816												
5 総合的な学習の時間支援事業	総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。 (単位 円) <table border="1" data-bbox="465 1222 992 1398"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>13</td> <td>1,460,000</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>840,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>2,300,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	交付額	小学校	13	1,460,000	中学校	5	840,000	計	18	2,300,000	総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりのため、小中学校にその経費を交付している。 今後も、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。
区分	学校数	交付額												
小学校	13	1,460,000												
中学校	5	840,000												
計	18	2,300,000												

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価																																											
主 要 な 施 策																																														
6 就 学 援 助	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、次のとおり就学援助費を支給した。</p> <p style="text-align: center;">(単位 人、円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">支給人数</th> <th style="text-align: center;">支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">学用品費</td> <td style="text-align: center;">950</td> <td style="text-align: right;">17,092,331</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">体育実技用具費</td> <td style="text-align: center;">296</td> <td style="text-align: right;">3,430,640</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学準備金</td> <td style="text-align: center;">163</td> <td style="text-align: right;">7,202,600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学準備金(早期支給)</td> <td style="text-align: center;">181</td> <td style="text-align: right;">8,021,800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">修学旅行費</td> <td style="text-align: center;">203</td> <td style="text-align: right;">9,128,812</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">通学費</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: right;">77,593</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">PTA会費</td> <td style="text-align: center;">712</td> <td style="text-align: right;">2,511,151</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生徒会費</td> <td style="text-align: center;">310</td> <td style="text-align: right;">129,562</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">クラブ活動費</td> <td style="text-align: center;">227</td> <td style="text-align: right;">4,000,272</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医療費</td> <td style="text-align: center;">685</td> <td style="text-align: right;">1,878,835</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">給食費</td> <td style="text-align: center;">950</td> <td style="text-align: right;">43,911,823</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">管理指導表文書料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">950</td> <td style="text-align: right;">97,385,419</td> </tr> </tbody> </table>		区分	支給人数	支給額	学用品費	950	17,092,331	体育実技用具費	296	3,430,640	入学準備金	163	7,202,600	入学準備金(早期支給)	181	8,021,800	修学旅行費	203	9,128,812	通学費	8	77,593	PTA会費	712	2,511,151	生徒会費	310	129,562	クラブ活動費	227	4,000,272	医療費	685	1,878,835	給食費	950	43,911,823	管理指導表文書料			計	950	97,385,419	<p>児童生徒数 4,113人 認定者数 956人 認定率 23.2%</p>	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、就学援助をすることにより、経費負担の軽減を図っている。</p> <p>認定者数は、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、昨年度より20人増加となっており、認定率が1.2ポイント上昇した。</p> <p>また、入学準備金については、平成30年度より入学年度開始前に支給したことにより、支給額が約666万円の増となっており、全体の支給額としては約843万円の増となっている。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>
区分	支給人数	支給額																																												
学用品費	950	17,092,331																																												
体育実技用具費	296	3,430,640																																												
入学準備金	163	7,202,600																																												
入学準備金(早期支給)	181	8,021,800																																												
修学旅行費	203	9,128,812																																												
通学費	8	77,593																																												
PTA会費	712	2,511,151																																												
生徒会費	310	129,562																																												
クラブ活動費	227	4,000,272																																												
医療費	685	1,878,835																																												
給食費	950	43,911,823																																												
管理指導表文書料																																														
計	950	97,385,419																																												
7 奨 学 資 金	<p>高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。</p> <p style="text-align: center;">(単位 人、円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">支給人数</th> <th style="text-align: center;">奨学資金</th> <th style="text-align: center;">支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">通年(公立高校)</td> <td style="text-align: center;">69</td> <td style="text-align: right;">月額 6,500</td> <td style="text-align: right;">5,336,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">通年(私立高校)</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: right;">月額 10,000</td> <td style="text-align: right;">4,500,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">107</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,836,500</td> </tr> </tbody> </table>		区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,336,500	通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,500,000	計	107		9,836,500	<p>高校在学者であって、経済的な理由により就学困難な高校生に奨学金を支給している。</p> <p>平成27年度から支給対象者を増員し、支給単価を公立高校を月当たり6,500円、私立高校を月当たり1万円を限度に実施している。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>																											
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																											
通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,336,500																																											
通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,500,000																																											
計	107		9,836,500																																											

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価	
	主要な施策			
8 教育施設の整備	教育施設の整備を次のとおり実施した。		<p>(既存施設の改修及び保全) 下音更中学校の防火シャッター改修工事を実施したことで、年次計画で進めてきた、防火シャッター改修事業が完了したほか、網戸整備事業についても、未整備の5校に網戸を設置し、事業を完了することができた。</p> <p>また、建設後30年以上が経過し老朽化が著しい、音更小学校校舎と共栄中学校屋内運動場の外壁塗装改修工事を行ったほか、台風で被災した共栄中学校テニスコート法面の復旧工事及び、経年劣化が進む学校水泳プールの改修工事等を実施した。今後も、計画的に維持補修を行い、児童生徒等の安全確保と良好な教育環境の整備に努めていく。</p> <p>(老朽化した学校の大規模改修) 老朽化が深刻な木野東小学校校舎の長寿命化を図るため、平成26年度から継続して大規模改修を実施しており、平成30年度においては、職員室の改修工事を行った。木野東小学校校舎大規模改修事業については、平成30年度が事業最終年度となっており、計画通りに事業を完了することができた。今後も老朽化が進む学校を、計画的に改修し、施設の保全及び延命を図っていく。</p>	
				(単位 円)
	工事名等	工事費等		内 容
	柳町小学校特別支援教室建具改修工事	294,840		特別支援教室建具改修 1か所
	木野東小学校水泳プール給水配管漏水修繕工事	1,350,000		給水配管漏水修繕
	緑南中学校ほか2校給食室トイレ自動手洗器等設置工事	1,350,000		緑南中、西中音更小、南中音更小給食室トイレ用自動手洗器設置
	駒場中学校玄関ポーチスロープ設置工事	1,770,120		校舎玄関ポーチスロープ設置
	柳町小学校玄関ポーチタイル改修工事	3,175,200		校舎玄関ポーチタイル改修
	音更小学校給食搬入口風除室設置工事	1,017,900		給食搬入口風除室設置
	西中音更小学校木製コンビネーション遊具解体工事	253,692		木製コンビネーション遊具解体 1基
	旧豊田小学校木製コンビネーション遊具解体工事	296,460		木製コンビネーション遊具解体 1基
	下音更中学校校舎雪止め金具取付工事	216,000		校舎屋根雪止め金具取付 105個
	下音更中学校バスケットゴール補修工事	1,096,200		バスケットゴール補修 1基
	共栄中学校共用トイレ設置工事	280,800		共用トイレ設置 1か所
	下士幌小学校水泳プール水槽シート更新工事	2,199,960		水泳プール水槽シート更新
	音更小学校水泳プール水槽塗装工事	5,605,200		水泳プール水槽塗装
	東士幌小学校水泳プールろ過機ろ材更新工事	367,200		水泳プールろ過機ろ材更新
音更小学校校舎トップライト改修工事	8,272,800	校舎トップライト改修		
音更小学校校舎外壁塗装改修工事	48,384,000	校舎外壁塗装改修、シーリング改修		
木野東小学校校舎内部改修建築主体工事	7,625,880	職員室改修		
木野東小学校校舎内部改修電気設備工事	3,672,000	職員室改修に伴う電気設備工事・機械設備工事 一式		

項 目		成 果		教育委員会の点検・評価
主 要 な 施 策				
	木野東小学校端末臨時移設業務	199,800	職員室改修工事に伴う端末臨時移設業務	
	木野東小学校校舎内部改修工事監理委託業務	1,323,000	工事監理・指導監督	
	緑陽台小学校屋内給水管一部更新工事	1,263,600	屋内給水管一部更新	
	西中音更小学校浄化槽更新工事	10,594,800	既設単独処理浄化槽撤去 1組 合併処理浄化槽新設 1組	
	各小学校遊具再整備工事	972,000	駒場小, 東土狩小, 南中音更小, 木野東小, 緑陽台小 遊具再整備	
	木野東小学校屋内運動場暖房設備改修工事	2,851,200	暖房用温水ボイラー更新 1基	
	共栄中学校法面復旧工事	20,557,800	学校敷地法面復旧、排水構造物整備	
	共栄中学校テニスコートフェンス設置工事	16,290,720	テニスコートフェンス L=247m, 両開門扉 2基, 片開門扉 2基	
	下音更中学校防火シャッター改修工事	2,147,040	防火シャッター危害防止装置設置 2か所	
	共栄中学校屋内運動場外壁ほか改修工事	19,720,800	屋内運動場外壁塗装改修、シーリング改修、内部改修	
	下音更小学校ほか4校網戸整備事業	3,834,000	下音更小, 西中音更小, 東土幌小, 昭和, 南中音更小網戸整備	
	駒場小学校グラウンドポイント測量業務	292,746	グラウンドポイント測量	
	柳町小学校大規模改修設計委託業務	5,832,000	大規模改修実施設計	
	学校施設水銀灯改修設計委託業務	3,180,220	小中学校水銀灯改修設計	
	西中音更小学校暖房設備改修設計委託業務	864,000	暖房設備改修設計	
	下土幌小学校水泳プール管理棟改築設計委託業務	1,393,200	水泳プール管理棟改築設計	
	音更小学校ほか1校外壁塗材等アスベスト含有調査委託業務	199,800	音更小学校校舎, 共栄中学校屋内運動場外壁塗材定性分析調査	
	音更小学校ほか1校屋上防水等改修設計委託業務	1,242,000	音更小学校校舎屋上防水、鈴蘭小学校校舎外壁塗装改修設計	
	緑南中学校屋外トイレ改築設計委託業務	1,004,400	屋外トイレ改築設計	
	計	180,991,378		

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価																		
主 要 な 施 策																					
9 教員住宅の整備	<p>教員住宅の整備を次のとおり実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 事 名 等</th> <th style="text-align: center;">工 事 費 等</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員住宅温水ボイラー更新工事</td> <td style="text-align: right;">2,170,800</td> <td>温水ボイラー更新 5戸</td> </tr> <tr> <td>教員住宅屋根塗装工事</td> <td style="text-align: right;">1,890,000</td> <td>屋根塗装 5戸</td> </tr> <tr> <td>教員住宅浴室ほか改修工事</td> <td style="text-align: right;">4,838,400</td> <td>浴室ほか改修 2戸</td> </tr> <tr> <td>教員住宅解体工事</td> <td style="text-align: right;">9,720,000</td> <td>解体撤去 4戸</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">18,619,200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	教員住宅温水ボイラー更新工事	2,170,800	温水ボイラー更新 5戸	教員住宅屋根塗装工事	1,890,000	屋根塗装 5戸	教員住宅浴室ほか改修工事	4,838,400	浴室ほか改修 2戸	教員住宅解体工事	9,720,000	解体撤去 4戸	計	18,619,200		<p>教職員の福利厚生の一環として整備している住宅の住環境改善のため、昨年度に引き続き温水ボイラーの更新工事を実施したほか、屋根の塗装工事及び浴室のユニットバス化等を行った。</p> <p>また、老朽化が深刻で入居が見込めない教員住宅4戸の解体工事を行った。</p> <p>今後も入居者の要望を把握し、入居状況を踏まえながら質的整備を進める。</p>
工 事 名 等	工 事 費 等	内 容																			
教員住宅温水ボイラー更新工事	2,170,800	温水ボイラー更新 5戸																			
教員住宅屋根塗装工事	1,890,000	屋根塗装 5戸																			
教員住宅浴室ほか改修工事	4,838,400	浴室ほか改修 2戸																			
教員住宅解体工事	9,720,000	解体撤去 4戸																			
計	18,619,200																				
10 開かれた学校づくり	<p>信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱 (小学校58人、中学校18人) ・学校運営協議会委員の任命 (中学校10人) ・小規模特認校制度導入 (昭和小学校) 		<p>信頼される開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員を活用した「学校評価」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を図っている。なお、駒場中学校については町内のモデル校としてコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を設置した。</p> <p>また、昭和小学校の小規模特認校制度については平成19年度から導入しており、平成30年度は2人が通学している。</p>																		
11 いじめ等の対策	<p>いじめ問題等対策委員会を設置して、全小中学校でアンケート調査を実施し、調査結果をまとめた「いじめに関する実態調査」を教職員に配付した。また、平成25年度からハイパーQ Uアンケートを実施し、いじめ等の早期発見に効果を上げている。</p>		<p>アンケート調査を基に、ネット上のいじめ等も含め、いじめの実態把握に取り組んでいる。</p> <p>また、平成30年3月の「音更町いじめ防止基本方針」の改定を踏まえ、各学校において「いじめ防止基本方針」を改定するなど校内体制の充実を図り、適応指導教室や心の教室相談員等と連携しながら、いじめ・不登校に対して、早期発見・早期解決に取り組んでいる。</p>																		
12 児童生徒の安全確保	<p>児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童への防犯ブザーの配付 ・巡視強化のための用具購入（蛍光反射腕章） ・全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配置 		<p>登下校時の通学路の安全対策については、各学校ごとに地域ぐるみで子どもを見守る取組が進められている。</p> <p>教職員対象の一般救急講習では、AED操作方法やエビペンの研修を行った。各種災害時の対応マニュアルを作成し、教育委員会、学校及び保護者と対応について共有している。今後も、児童生徒の安全確保の観点から継続していきたい。</p>																		

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価
13 情報教育	<p>小中学校に教育用コンピュータを整備し、児童生徒が基礎的操作の習得並びに情報化時代に対応できるような教育を実施した。</p> <p>次の学校のコンピュータ整備を実施した。</p> <p>整備校 木野東小学校、東土狩小学校、東土幌小学校</p>	<p>学校のパソコン教室のコンピュータ整備については、年次計画で更新し、整備を行っている。</p>
14 国際理解教育	<p>英語指導助手を配置し、中学生に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。</p> <p>英語指導助手 1人</p> <p>小学校の外国語活動については、外部サポート講師を全小学校に派遣した。</p>	<p>英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校をはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されており、今後も継続していきたい。</p> <p>外部サポート講師については、新たな学習指導要領の改訂による外国語活動においても継続していきたい。</p>
15 食育	<p>生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。</p> <p>十勝管内で唯一の自校給食では、地産地消と食育推進のために、「おとぶけ給食」などを実施しており、児童生徒から好評を得ている。</p>	<p>本町の学校給食は、地場産品の割合が高いが、今後も食育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。</p> <p>また、地産地消と食育推進のため、町と連携して「おとぶけ給食」を実施している。栄養教諭4人の体制で、食育の充実を図っている。</p> <p>平成30年度からは、「音更町学校給食フードリサイクルプロジェクト」を実施し、食品ロス削減と食育の取組を実施している。</p>
16 特別支援教育	<p>肢体不自由学級及び病弱学級在籍児童生徒のうち、特に介助が必要であるものに対し、平成23年度から生活介助員を訪問介護事業所に業務委託し派遣した。</p> <p>通常学級には引き続き学習支援員を配置した。</p> <p>複式学校に複式学習支援員を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介助員 8校 ・特別支援教育学習支援員 11校 32人 ・複式教育学習支援員 6校 2人 	<p>特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、今後も生活介助員の配置が必要である。</p> <p>平成20年度から導入した特別支援教育学習支援員は、通常学級における発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対して、学習活動や学校生活上において支援を行っており、今後も配置が必要である。</p> <p>平成25年度から配置している複式学習支援員は、複式学級の児童の指導補助を行い、学力向上の効果を上げていることから今後も配置が必要である。</p>

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																						
社 会 教 育 の 振 興 1 青 少 年 教 育 事 業	<p> 団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図り、青少年の健全育成に努めた。 </p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="465 395 1272 1118"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども姉妹町視察研修 (岩手県軽米町)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>夏期・冬期リーダー研修会</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>秋山ハイキング</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>中学生リーダー研修会</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>こども体験隊</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>小・中学生のための出前ものづくり教室</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>熟年先生講座 (夏期・冬期)</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>国際交流のつどい</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>北部3町ジュニアリーダーズキャンプ</td> <td>30 (音更14)</td> </tr> <tr> <td>成人式</td> <td>432</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	こども姉妹町視察研修 (岩手県軽米町)	20	夏期・冬期リーダー研修会	36	秋山ハイキング	31	中学生リーダー研修会	6	こども体験隊	20	小・中学生のための出前ものづくり教室	13	熟年先生講座 (夏期・冬期)	34	国際交流のつどい	33	北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	30 (音更14)	成人式	432	<p> こども姉妹町視察研修は、小学生の相互交流事業として定着し、相互理解が図られている。姉妹町締結当初から継続している交流事業は本事業のみであることから、今後も継続が必要と考えている。 </p> <p> 従来、竹の子こども会世話人と共催で実施してきた夏期・冬期リーダー研修会及び秋山ハイキングについては、平成29年度末で世話人会が解散したため、町教委単独事業として継続実施し、ほぼ例年並みの参加人数となっている。また、平成30年度は新規事業として、中学生リーダー研修会を実施したが、今後、参加した中学生には、小学生対象のリーダー研修会において運営協力者としても活躍し得る人材の育成を目標に推進する。 </p> <p> こども体験隊、出前ものづくり教室 (釧路高専共催)、熟年先生講座 (北十勝退職校長教頭会共催)、国際交流のつどいは、さまざまな体験活動を通して豊かな情操や健全な身体の育成を図るとともに子どもの居場所づくりを提供するものであり、継続が必要であると考えている。熟年先生講座については、参加者が減少傾向であり、共催する北十勝退職校長教頭会が平成30年度で解散したことによる指導者の確保に課題がある。 </p> <p> 実施3年目となる上士幌町・士幌町と連携した事業「北部3町ジュニアリーダーズキャンプ (小学校3～6年生対象)」は、他町の子どもたちとの交流を通してコミュニケーション能力と思いやりの心を育むことを目的に今後も継続した取組としていくことを3町で確認している。 </p> <p> 成人式は、責任ある社会の一員としての意識及び認識を持ってもらう機会として、また成人に達した青年が一堂に集える場として実施し、新成人による実行委員会で実施する第二部とともに今後も継続が必要である。 </p>
事 業 名	参加人数																							
こども姉妹町視察研修 (岩手県軽米町)	20																							
夏期・冬期リーダー研修会	36																							
秋山ハイキング	31																							
中学生リーダー研修会	6																							
こども体験隊	20																							
小・中学生のための出前ものづくり教室	13																							
熟年先生講座 (夏期・冬期)	34																							
国際交流のつどい	33																							
北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	30 (音更14)																							
成人式	432																							

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																								
<p>2 青少年対策</p>	<p>放課後子ども教室の開設や青少年の健全育成を図るため、巡視指導活動や不審者情報の提供、通報・悩み相談等を行い、関係機関と連携して非行防止に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="465 309 1272 903"> <thead> <tr> <th data-bbox="465 309 1016 357">対 策 内 容</th> <th data-bbox="1016 309 1272 357">実 施 回 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="465 357 1016 389">登録人数</td> <td data-bbox="1016 357 1272 389">開催回数 参加人数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 389 1016 421">音更小 57人</td> <td data-bbox="1016 389 1272 421">12回 延 507人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 421 1016 453">放課後子ども教室の実施 下音更小 53人</td> <td data-bbox="1016 421 1272 453">12回 延 494人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 453 1016 485">駒場小 29人</td> <td data-bbox="1016 453 1272 485">11回 延 224人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 485 1016 517">柳町小 46人</td> <td data-bbox="1016 485 1272 517">11回 延 390人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 517 1016 596">巡視指導活動</td> <td data-bbox="1016 517 1272 596">巡視指導 延 528回 延1,280人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 596 1016 660">有害環境の浄化活動</td> <td data-bbox="1016 596 1272 660">随時実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 660 1016 724">通報活動・青少年悩み相談</td> <td data-bbox="1016 660 1272 724">通報 10件 相談 0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 724 1016 788">広報活動</td> <td data-bbox="1016 724 1272 788">広報紙発行 12回 広報車運行 随時</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 788 1016 836">研修活動</td> <td data-bbox="1016 788 1272 836">会議・研修会 13回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 836 1016 900">関係機関・団体との連携</td> <td data-bbox="1016 836 1272 900">派遣 10回 学校訪問 年2回</td> </tr> </tbody> </table>	対 策 内 容	実 施 回 数 等	登録人数	開催回数 参加人数	音更小 57人	12回 延 507人	放課後子ども教室の実施 下音更小 53人	12回 延 494人	駒場小 29人	11回 延 224人	柳町小 46人	11回 延 390人	巡視指導活動	巡視指導 延 528回 延1,280人	有害環境の浄化活動	随時実施	通報活動・青少年悩み相談	通報 10件 相談 0件	広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時	研修活動	会議・研修会 13回	関係機関・団体との連携	派遣 10回 学校訪問 年2回	<p>平成28年度から実施している放課後子ども教室は、教育委員会が主催で実施するもので、放課後に小学校の体育館等を活用し、勉強やスポーツ、文化活動など、児童と地域住民が交流しながら、児童の自主性や社会性、創造性等を養うための安全・安心な「子どもの居場所づくり」を目的としている。町内4小学校で事業を実施しており、保護者からは概ね好評である。令和2年度から小学校の新学習指導要領が全面实施されることにより実施校の拡大を見送ってきたが、今後は、市街地の未実施校においても早期実施に向けた課題の整理を進める。なお、目標としていた全小学校での実施は、市街地の全ての小学校で実施された後に、参加を希望する児童数等を勘案して調整を進めていくこととする。</p> <p>巡視指導は、生涯学習センターを拠点に、5地区の青少年対策地区指導員と連携しながら活動しており、今後も地域との連携を更に密接に進め、地域ぐるみで子どもの安全確保を図る必要がある。</p> <p>通報等について、子どもの安全を守る活動として、学校と教育委員会と曜日時間に関係なく不審者情報を正確かつ迅速に周知するため連絡網を整備し、関係機関等と連携している。平成29年度と比較し通報は3件減少しており、凶悪な危害を受けたものは無く、声かけまたはつきまとい事案である。</p> <p>青少年だより「かけ橋」は月1回発行し、概ね好評であるが、より多くの町民に読んでもらえる紙面づくりに努め、今後も継続して家庭・学校を通して周知していく必要がある。</p>
対 策 内 容	実 施 回 数 等																									
登録人数	開催回数 参加人数																									
音更小 57人	12回 延 507人																									
放課後子ども教室の実施 下音更小 53人	12回 延 494人																									
駒場小 29人	11回 延 224人																									
柳町小 46人	11回 延 390人																									
巡視指導活動	巡視指導 延 528回 延1,280人																									
有害環境の浄化活動	随時実施																									
通報活動・青少年悩み相談	通報 10件 相談 0件																									
広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時																									
研修活動	会議・研修会 13回																									
関係機関・団体との連携	派遣 10回 学校訪問 年2回																									
<p>3 成人教育事業</p>	<p>学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="465 1011 1272 1390"> <thead> <tr> <th data-bbox="465 1011 1133 1043">事 業 名</th> <th data-bbox="1133 1011 1272 1043">(単位 人) 参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="465 1043 1133 1075">家庭教育学級 (18学級)</td> <td data-bbox="1133 1043 1272 1075">3,088</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1075 1133 1107">幼児家庭教育学級</td> <td data-bbox="1133 1075 1272 1107">28</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1107 1133 1139">女性ライフスクール</td> <td data-bbox="1133 1107 1272 1139">42</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1139 1133 1171">高齢者学級 (4学級)</td> <td data-bbox="1133 1139 1272 1171">399</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1171 1133 1203">高齢者大学 (すずらんカレッジ：4学年)</td> <td data-bbox="1133 1171 1272 1203">43</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1203 1133 1235">高齢者大学院 (すずらん大学院：2学年)</td> <td data-bbox="1133 1203 1272 1235">20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="465 1235 1133 1267">家庭教育電話相談</td> <td data-bbox="1133 1235 1272 1267">0 件</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	(単位 人) 参加人数	家庭教育学級 (18学級)	3,088	幼児家庭教育学級	28	女性ライフスクール	42	高齢者学級 (4学級)	399	高齢者大学 (すずらんカレッジ：4学年)	43	高齢者大学院 (すずらん大学院：2学年)	20	家庭教育電話相談	0 件	<p>各家庭教育学級は、幼児・小中学生の保護者の子育て支援と資質向上を図るため、今後も継続が必要である。幼児家庭教育学級は通年で実施しており、子育てにおける知識・能力を身に付ける学習の場を提供できている。また、受講生が安心して学習活動に取り組めるようボランティアによる託児を継続していく。</p> <p>女性ライフスクールは、生活課題の解決や資質向上、地域での役割を醸成するために、今後も必要である。</p> <p>各種高齢者教室は、社会の変化に対応した知識等の習得と健康で生きがいのある社会生活を支援するとともに、地域のリーダーの養成及び社会参加を促進するための取組を実施するもので、今後も必要な事業である。</p> <p>各種子育て支援相談事業は、子育てに関する情報提供や電話等による相談業務を行い、子育てにおける問題解決に向けた有効な事業であるため、今後も継続していくことが必要である。なお、指導員が直接対応する電話相談については平成30年度の実績は0件であったため、周知方法の検討を要する。</p>								
事 業 名	(単位 人) 参加人数																									
家庭教育学級 (18学級)	3,088																									
幼児家庭教育学級	28																									
女性ライフスクール	42																									
高齢者学級 (4学級)	399																									
高齢者大学 (すずらんカレッジ：4学年)	43																									
高齢者大学院 (すずらん大学院：2学年)	20																									
家庭教育電話相談	0 件																									

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																			
<p>4 生涯学習事業</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事 業 名</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習フェスティバル</td> <td style="text-align: center;">2,367</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:20講座・5事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)</td> <td style="text-align: center;">2,937</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(4講座)</td> <td style="text-align: center;">38</td> </tr> <tr> <td>高校開放講座(7講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)</td> <td style="text-align: center;">55</td> </tr> <tr> <td>生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)</td> <td style="text-align: center;">106</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会の変化に対応し心豊かに生きていくために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事 業 名</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座(10講座)</td> <td style="text-align: center;">181</td> </tr> <tr> <td>郷土資料室開放まつり</td> <td style="text-align: center;">125</td> </tr> <tr> <td>史跡めぐりツアー(2回)</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	生涯学習フェスティバル	2,367	〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:20講座・5事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	2,937	〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(4講座)	38	高校開放講座(7講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	55	生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	106	事 業 名	参加人数	生涯学習講座(10講座)	181	郷土資料室開放まつり	125	史跡めぐりツアー(2回)	50	<p>生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関等との連携による学習機会の提供を図った。</p> <p>生涯学習フェスティバルは、生涯学習を実践する各種団体による実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場でもある。参加人数も例年と同水準であり、今後も継続して実施していく。</p> <p>〇〇JCオープンカレッジ、高校開放講座は、帯広大谷短期大学及び音更高校と共同で実施する学習講座であり、高等教育機関等の教育力を活用した事業である。これは、地域の教育資源を積極的に活用する極めて有効な事業であり、今後も住民のニーズに対応した、継続性のある魅力的な講座(学習機会)を提供することが必要である。高校開放講座については、平成30年度は、講座数、参加人数ともに減少しているため、高校と相談しながら新しいメニューを構築する必要がある。なお、書道講座については、生涯学習講座へ移行し、嘱託生涯学習推進員を講師として引き続き実施している。</p> <p>生涯学習まちづくりセミナーは、生涯学習によるまち(地域)づくり、人づくりをめざした事業(学習講座)であり、今後のまちづくり等を進める上で住民と行政が相互信頼関係を構築し、生涯学習を通じた住民参加と協働によるまちづくりを推進していくために有効な事業であり、今後も継続していくことが必要である。</p> <p>生涯学習講座は、実用講座、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、コミュニケーションの増進を促す講座など住民ニーズや時宜に対応した講座を実施し、生きがいづくりや資質の向上、文化的生活を支援するもので、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>平成30年度新規に実施した郷土資料室開放まつりは、子どもから大人まで幅広い層を対象に、保有している史料を有効に活用しながら郷土おとふけの理解を促進するための事業である。また、史跡めぐりツアーは平成24年度から実施しており、町内を巡りながら郷土おとふけを広く理解していただく貴重な学習機会となっている。両事業とも音更郷土史研究会の協力のもと実現している事業であり、参加者からも好評であるため、今後も継続実施していく。</p>
事 業 名	参加人数																				
生涯学習フェスティバル	2,367																				
〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:20講座・5事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	2,937																				
〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(4講座)	38																				
高校開放講座(7講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	55																				
生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	106																				
事 業 名	参加人数																				
生涯学習講座(10講座)	181																				
郷土資料室開放まつり	125																				
史跡めぐりツアー(2回)	50																				

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																				
<p>5 文化・芸術事業</p>	<p>芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、各文化団体と協力、連携し、芸術文化の奨励と向上に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">事 業 名</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術文化大会参加補助金 (全道個人3件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体2件)</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td>中学生のための音楽教室</td> <td style="text-align: center;">1,026</td> </tr> <tr> <td>小学生芸術鑑賞会</td> <td style="text-align: center;">1,559</td> </tr> <tr> <td>文化祭</td> <td style="text-align: center;">6,372</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業(事業協会等との連携事業)17事業</td> <td style="text-align: center;">9,110</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	芸術文化大会参加補助金 (全道個人3件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体2件)	44	中学生のための音楽教室	1,026	小学生芸術鑑賞会	1,559	文化祭	6,372	芸術鑑賞事業(事業協会等との連携事業)17事業	9,110	<p>(芸術文化大会参加補助金) 芸術文化大会参加補助は、芸術文化部門において優秀な成績を収めた者に対して補助しているもので、芸術文化の奨励と向上を図るため、今後も継続が必要である。</p> <p>(中学生のための音楽教室・小学生芸術鑑賞会) 今後も情操教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 芸能発表会や作品展示会を通じて人々の交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進した。今後もこれらの活動を通じて人づくり・まちづくを進めるために継続する必要がある。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、幼児・児童向け鑑賞事業、演劇鑑賞事業やクラシックコンサートなどの音楽鑑賞事業を実施し、各ジャンルで質の高い鑑賞事業を展開した。 文化事業協会との連携事業においては多様化している町民ニーズに合わせた事業が展開できていた。 前年に比べ事業数が減少したことから参加人数が733人の減となった。 事業費の制約もあるが、今後も鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>																								
事 業 名	参加人数																																					
芸術文化大会参加補助金 (全道個人3件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体2件)	44																																					
中学生のための音楽教室	1,026																																					
小学生芸術鑑賞会	1,559																																					
文化祭	6,372																																					
芸術鑑賞事業(事業協会等との連携事業)17事業	9,110																																					
<p>6 文化センター利用状況</p>	<p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>鑑賞発表会</th> <th>研修会 講習会</th> <th>演奏会 演習会</th> <th>サークル 活動</th> <th>講座</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">50,361</td> <td style="text-align: center;">6,576</td> <td style="text-align: center;">7,368</td> <td style="text-align: center;">1,220</td> <td style="text-align: center;">3,497</td> <td style="text-align: center;">69,022</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>各部屋別</th> <th>大ホール</th> <th>小ホール</th> <th>楽屋1～3</th> <th>音楽室</th> <th>会議室</th> <th>実習室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">39,625</td> <td style="text-align: center;">8,890</td> <td style="text-align: center;">1,508</td> <td style="text-align: center;">4,338</td> <td style="text-align: center;">2,724</td> <td style="text-align: center;">2,209</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">57.41%</td> <td style="text-align: center;">12.88%</td> <td style="text-align: center;">2.18%</td> <td style="text-align: center;">6.29%</td> <td style="text-align: center;">3.95%</td> <td style="text-align: center;">3.20%</td> </tr> </tbody> </table>	内容	鑑賞発表会	研修会 講習会	演奏会 演習会	サークル 活動	講座	その他	計	人数	50,361	6,576	7,368	1,220	3,497	69,022	各部屋別	大ホール	小ホール	楽屋1～3	音楽室	会議室	実習室	人数	39,625	8,890	1,508	4,338	2,724	2,209	%	57.41%	12.88%	2.18%	6.29%	3.95%	3.20%	<p>鑑賞会や発表会、講習会、各種サークル活動等に幅広く利用されており、住民の身近な施設としての役割りを果たしている。今後も施設の適正な維持管理に努め、利用しやすい施設づくりを目指す。 平成30年度は、正面玄関軒天改修工事、正面玄関階段手摺設置工事、北側駐車場区画線工事を実施した。</p>
内容	鑑賞発表会	研修会 講習会	演奏会 演習会	サークル 活動	講座	その他	計																															
人数	50,361	6,576	7,368	1,220	3,497	69,022																																
各部屋別	大ホール	小ホール	楽屋1～3	音楽室	会議室	実習室																																
人数	39,625	8,890	1,508	4,338	2,724	2,209																																
%	57.41%	12.88%	2.18%	6.29%	3.95%	3.20%																																

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																			
主 要 な 施 策	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 15%;">展示室</th> <th style="width: 15%;">作法室</th> <th style="width: 15%;">研修室1</th> <th style="width: 15%;">研修室2</th> <th style="width: 15%;">研修室3</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">2,824</td> <td style="text-align: center;">298</td> <td style="text-align: center;">831</td> <td style="text-align: center;">1,202</td> <td style="text-align: center;">1,834</td> <td style="text-align: center;">69,022</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">4.09%</td> <td style="text-align: center;">0.43%</td> <td style="text-align: center;">1.20%</td> <td style="text-align: center;">1.74%</td> <td style="text-align: center;">2.66%</td> <td style="text-align: center;">100.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※展示催し物広場：2,739人（3.97%）</p>		展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計	人数	2,824	298	831	1,202	1,834	69,022	%	4.09%	0.43%	1.20%	1.74%	2.66%	100.00%															
	展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計																															
人数	2,824	298	831	1,202	1,834	69,022																															
%	4.09%	0.43%	1.20%	1.74%	2.66%	100.00%																															
7 図書、視聴覚の振興	<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>① 図書の貸出状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">貸 出 冊 数</th> <th style="width: 50%;">貸 出 人 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td style="text-align: center;">207,214</td> <td style="text-align: center;">47,080人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td style="text-align: center;">23,003</td> <td style="text-align: center;">6,452人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td style="text-align: center;">34,886</td> <td style="text-align: center;">979件</td> </tr> <tr> <td>市町村連携貸出</td> <td style="text-align: center;">541</td> <td style="text-align: center;">337件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">265,644</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 視聴覚教材の貸出状況</p> <p style="text-align: right;">(単位 件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">区 分</th> <th style="width: 30%;">貸 出 件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材（ビデオ・DVD・CD）</td> <td style="text-align: center;">6,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 図書館（本館）の入館者数 90,175 人</p> <p>④ 図書館の蔵書冊数等</p> <p style="text-align: right;">(単位 冊)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: left;">平成 30 年度 図 書 等 受 入 数</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">除 籍 冊 数 等</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">蔵 書 冊 数 等</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">購 入</th> <th style="width: 15%;">寄 贈 等</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5,909</td> <td style="text-align: center;">734</td> <td style="text-align: center;">6,643</td> <td style="text-align: center;">5,423</td> <td style="text-align: center;">211,963</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等	図書館	207,214	47,080人	分館	23,003	6,452人	団体	34,886	979件	市町村連携貸出	541	337件	計	265,644		区 分	貸 出 件 数	教材（ビデオ・DVD・CD）	6,300	平成 30 年度 図 書 等 受 入 数			除 籍 冊 数 等	蔵 書 冊 数 等	購 入	寄 贈 等	計	5,909	734	6,643	5,423	211,963	<p>図書の貸出状況は前年度より若干減少しており、個人貸出数は増えているが、団体貸出数が減少している。</p> <p>年代別にみると70歳以上の高齢者の利用が増えているが、小学生と30歳～40歳代の利用が減少しており、子育て世代の利用減少に伴いその子ども達の利用も減っていることが伺える。</p> <p>今後も各種事業や広報などを通して情報を発信し図書館利用を促進する必要がある。また、小中学校にも授業に利用できる資料の貸出等について情報発信していく必要がある。</p>
区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等																																			
図書館	207,214	47,080人																																			
分館	23,003	6,452人																																			
団体	34,886	979件																																			
市町村連携貸出	541	337件																																			
計	265,644																																				
区 分	貸 出 件 数																																				
教材（ビデオ・DVD・CD）	6,300																																				
平成 30 年度 図 書 等 受 入 数			除 籍 冊 数 等	蔵 書 冊 数 等																																	
購 入	寄 贈 等	計																																			
5,909	734	6,643	5,423	211,963																																	

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価																														
主 要 な 施 策																																	
	(2) 図書館事業の実施状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読書感想文コンクール</td> <td style="text-align: center;">129人</td> </tr> <tr> <td>図書交換会</td> <td style="text-align: center;">156人</td> </tr> <tr> <td>古雑誌市</td> <td style="text-align: center;">87人</td> </tr> <tr> <td>古本市</td> <td style="text-align: center;">247人</td> </tr> <tr> <td>子ども映画会</td> <td style="text-align: center;">43人</td> </tr> <tr> <td>絵本作家講演会</td> <td style="text-align: center;">49人</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞講座</td> <td style="text-align: center;">26人</td> </tr> <tr> <td>文学講座</td> <td style="text-align: center;">22人</td> </tr> <tr> <td>工作教室</td> <td style="text-align: center;">41人</td> </tr> <tr> <td>ぬいぐるみのおとまり会</td> <td style="text-align: center;">11組17人</td> </tr> <tr> <td>文庫設置</td> <td>小学校13校・学童保育所10カ所</td> </tr> <tr> <td>ブックスタート</td> <td style="text-align: center;">318組</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートプラス</td> <td style="text-align: center;">313組</td> </tr> <tr> <td>リーディングスタート</td> <td style="text-align: center;">401組</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	参加人数等	読書感想文コンクール	129人	図書交換会	156人	古雑誌市	87人	古本市	247人	子ども映画会	43人	絵本作家講演会	49人	芸術鑑賞講座	26人	文学講座	22人	工作教室	41人	ぬいぐるみのおとまり会	11組17人	文庫設置	小学校13校・学童保育所10カ所	ブックスタート	318組	ブックスタートプラス	313組	リーディングスタート	401組	<p>前年度と比較して事業によって参加の増減はあるが、町民の学習意欲の向上と関係図書の利用も期待できることから継続して実施していく。</p> <p>事業の周知については、内容を広く分かりやすく伝えるための周知方法を工夫する必要がある。</p> <p>子どもの読書活動推進を図る事業としては、小規模小学校対象の移動文庫及び大規模小学校の全学級を対象とした学級文庫は好評であり、今後も各学校と連携しながら実施していく。</p>
事業名	参加人数等																																
読書感想文コンクール	129人																																
図書交換会	156人																																
古雑誌市	87人																																
古本市	247人																																
子ども映画会	43人																																
絵本作家講演会	49人																																
芸術鑑賞講座	26人																																
文学講座	22人																																
工作教室	41人																																
ぬいぐるみのおとまり会	11組17人																																
文庫設置	小学校13校・学童保育所10カ所																																
ブックスタート	318組																																
ブックスタートプラス	313組																																
リーディングスタート	401組																																

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																																																				
			主 要 な 施 策																																																																			
社 会 体 育 の 振 興																																																																						
1 体力づくり、健康づくりの振興	<p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツライフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・幼児たいそう教室 (幼児教育)</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>・高齢者スポーツ学級 (成人教育)</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>○スポーツ教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こども体操教室</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>・こどもHIPHOP教室</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>・こどもトランポリン教室</td> <td>823</td> </tr> <tr> <td>・バルシューレ教室</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>・サンサン運動教室</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>・短期子供体操教室</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアトランポリン教室</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・初心者スケート教室</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>・スポーツセミナー (ソフトテニス)</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>・こども水泳教室</td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>・大人水泳教室</td> <td>20,648</td> </tr> <tr> <td>・短期こども水泳教室</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>・ひみつの特訓</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>・ステップアップ水泳教室</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td>1,951</td> </tr> <tr> <td>・トップステップアップ水泳教室</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>・ベビースイミング教室</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>・リトルスイミング教室</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>・個人レッスン (大人水泳)</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>・ちゃっぼん水泳教室</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・プライベートレッスン</td> <td>631</td> </tr> <tr> <td>○体力づくり教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エアロビクス</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>・レッスンプログラム</td> <td>18,131</td> </tr> <tr> <td>・水中運動</td> <td>11,490</td> </tr> <tr> <td>・軽運動教室</td> <td>1,388</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	○スポーツライフ		・幼児たいそう教室 (幼児教育)	145	・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	21	・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	68	・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	18	・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	74	○スポーツ教室		・こども体操教室	701	・こどもHIPHOP教室	216	・こどもトランポリン教室	823	・バルシューレ教室	111	・サンサン運動教室	42	・短期子供体操教室	308	・ジュニアトランポリン教室	20	・初心者スケート教室	48	・スポーツセミナー (ソフトテニス)	109	・こども水泳教室	921	・大人水泳教室	20,648	・短期こども水泳教室	350	・ひみつの特訓	553	・ステップアップ水泳教室	264	・ジュニアステップアップ水泳教室	1,951	・トップステップアップ水泳教室	269	・ベビースイミング教室	330	・リトルスイミング教室	39	・個人レッスン (大人水泳)	451	・ちゃっぼん水泳教室	70	・プライベートレッスン	631	○体力づくり教室		・エアロビクス	2,600	・レッスンプログラム	18,131	・水中運動	11,490	・軽運動教室	1,388	<p>(スポーツライフ) 総合体育館と温水プールでは、幼児から高齢者まで幅広い年代の方々に運動やスポーツに親しむ機会を提供するため、各種事業を継続的に開催している。 スポーツライフでは、中・長期の教室等を実施しており、各教室の参加者同士が交流する場ともなっており、今後も継続が必要と考える。</p> <p>(スポーツ教室) スポーツ教室は、教育委員会が管理していた当時から実施しているものと、指定管理者が実施しているものがあるが、今後も住民のニーズを把握しながら、継続していくことが必要と考える。</p> <p>(体力づくり教室) エアロビクスや水中運動など、各年代や体力に応じたプログラムを実施している。民間のノウハウを生かした大人のためのスタジオプログラムは、指定管理者制度がスタートした平成18年度に比べ多くの人に参加している。今後も住民のニーズを把握しながら、プログラムを工夫していくことが必要である。</p>
事 業 名	参加人数																																																																					
○スポーツライフ																																																																						
・幼児たいそう教室 (幼児教育)	145																																																																					
・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	21																																																																					
・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	68																																																																					
・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	18																																																																					
・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	74																																																																					
○スポーツ教室																																																																						
・こども体操教室	701																																																																					
・こどもHIPHOP教室	216																																																																					
・こどもトランポリン教室	823																																																																					
・バルシューレ教室	111																																																																					
・サンサン運動教室	42																																																																					
・短期子供体操教室	308																																																																					
・ジュニアトランポリン教室	20																																																																					
・初心者スケート教室	48																																																																					
・スポーツセミナー (ソフトテニス)	109																																																																					
・こども水泳教室	921																																																																					
・大人水泳教室	20,648																																																																					
・短期こども水泳教室	350																																																																					
・ひみつの特訓	553																																																																					
・ステップアップ水泳教室	264																																																																					
・ジュニアステップアップ水泳教室	1,951																																																																					
・トップステップアップ水泳教室	269																																																																					
・ベビースイミング教室	330																																																																					
・リトルスイミング教室	39																																																																					
・個人レッスン (大人水泳)	451																																																																					
・ちゃっぼん水泳教室	70																																																																					
・プライベートレッスン	631																																																																					
○体力づくり教室																																																																						
・エアロビクス	2,600																																																																					
・レッスンプログラム	18,131																																																																					
・水中運動	11,490																																																																					
・軽運動教室	1,388																																																																					

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価																					
	主 要 な 施 策																							
	○スポーツ大会 ・すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会 ・町民スケート大会 ・町民体育祭（陸上、剣道、弓道、柔道、ソフトテニス、アーチェリー、ソフトボール、ミニバレー、軟式野球、バドミントン、バレーボール） 卓球、水泳、スカッシュ、ゲートボール） ・秋のスポーツ大会（剣道、サッカー、ソフトテニス、弓道、軟式野球、柔道、バドミントン、ソフトボール、ミニバレー、パークゴルフ、卓球、バレーボール、アーチェリー、ゲートボール） ・冬季スポーツ大会（剣道、バレー、アイスホッケー、ソフトテニス、サッカーリング、ゲートボール）、	138 317 1,408 1,096 659	（スポーツ大会） 町体育協会（現町スポーツ協会）とその加盟団体は、教育委員会と共催又は独自に町民大会などの「各種大会」を開催することで、日頃の練習成果を発揮し合い、参加者同士の交流と親睦を深めることができる機会の充実に努めている。今後も継続が必要である。																					
2 指導者、リーダーの養成	スポーツ指導者及びリーダーを養成するため次のとおり実施した。 （単位 人） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">事 業 名</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ少年団リーダー研修会</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ指導者研修会</td> <td style="text-align: center;">65</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	・スポーツ少年団リーダー研修会	12	・スポーツ指導者研修会	65	（スポーツ少年団リーダー研修会） 所属のスポーツ少年団でリーダーとして活動するための自覚と資質の向上を図るとともに、団相互の交流を深めることを目的としており、今後も継続が必要である。 （スポーツ指導者研修会） スポーツ活動の中核となるべき指導者を養成することは極めて重要であることから、今後も研鑽する場を提供することが必要である。																
事 業 名	参加人数																							
・スポーツ少年団リーダー研修会	12																							
・スポーツ指導者研修会	65																							
3 奨励及び顕彰	スポーツの奨励と向上を図るため次のとおり実施した。 （単位 人） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">事 業 名</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ大会参加補助</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（全国 33件）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（全道 101件）</td> <td style="text-align: center;">283</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（国際 1件）</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ賞等表彰</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（24個人）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	人 数	・スポーツ大会参加補助	50	（全国 33件）		（全道 101件）	283	（国際 1件）	1	・スポーツ賞等表彰	24	（24個人）		（スポーツ大会参加補助） 全道・全国大会規模のスポーツ競技大会への参加者に対して参加経費の一部を補助している。スポーツ振興のため今後も継続することが必要である。 （スポーツ賞等表彰） スポーツ賞等は、スポーツ基本法に基づき、毎年スポーツ分野において優秀な成績を収め、又はスポーツ推進に功績のあった個人又は団体を表彰している。								
事 業 名	人 数																							
・スポーツ大会参加補助	50																							
（全国 33件）																								
（全道 101件）	283																							
（国際 1件）	1																							
・スポーツ賞等表彰	24																							
（24個人）																								
4 施設の利用状況	（1）屋内体育施設 （単位 人、件） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施 設 名</th> <th rowspan="2">個人 利用</th> <th colspan="2">団 体 利 用</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件 数</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総 合 体 育 館</td> <td style="text-align: center;">80,717</td> <td style="text-align: center;">4,676</td> <td style="text-align: center;">98,443</td> <td style="text-align: center;">179,160</td> </tr> <tr> <td>武 道 館</td> <td style="text-align: center;">1,791</td> <td style="text-align: center;">902</td> <td style="text-align: center;">33,211</td> <td style="text-align: center;">35,002</td> </tr> <tr> <td>温 水 プ ー ル</td> <td style="text-align: center;">69,397</td> <td style="text-align: center;">173</td> <td style="text-align: center;">4,765</td> <td style="text-align: center;">74,162</td> </tr> </tbody> </table>	施 設 名	個人 利用	団 体 利 用		計	件 数	人 数	総 合 体 育 館	80,717	4,676	98,443	179,160	武 道 館	1,791	902	33,211	35,002	温 水 プ ー ル	69,397	173	4,765	74,162	（屋内体育施設） 競技スポーツや生涯スポーツの場として、大会や少年団・サークル活動等で利用されている。 平成29年度と比較して、すべての施設において微増となった。
施 設 名	個人 利用			団 体 利 用			計																	
		件 数	人 数																					
総 合 体 育 館	80,717	4,676	98,443	179,160																				
武 道 館	1,791	902	33,211	35,002																				
温 水 プ ー ル	69,397	173	4,765	74,162																				

項 目	成 果		教育委員会の点検・評価																		
主 要 な 施 策																					
	<p>(2) 軽スポーツセンター</p> <p style="text-align: right;">(単位 人、件)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施 設 名</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> <th style="text-align: center;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭軽スポーツセンター</td> <td style="text-align: center;">1,020</td> <td style="text-align: center;">11,829</td> </tr> <tr> <td>宝来軽スポーツセンター</td> <td style="text-align: center;">1,063</td> <td style="text-align: center;">16,635</td> </tr> </tbody> </table>		施 設 名	件 数	人 数	鈴蘭軽スポーツセンター	1,020	11,829	宝来軽スポーツセンター	1,063	16,635	<p>(軽スポーツセンター) 鈴蘭、宝来の両軽スポーツセンターともに、町民の身近な施設として、サークル活動等に活発に利用されている。</p> <p>(運動公園等) 希望が丘運動公園等の屋外体育施設は、競技スポーツや生涯スポーツの場として、多くの大会や少年団・サークル活動等で利用されている。 河川敷地にある屋外体育施設については、台風被災により立入禁止としていたが、十勝川温泉アクアパークと音更川リバーパークの2箇所のパークゴルフ場が8月から再オープンした。 音更町サッカー場は4月からオープンし、クラブユース(U-15)大会など多くの大会や練習で利用された。 今後、被災した施設の復旧とともに、新施設を含めた全ての屋外体育施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。</p> <p>(学校開放事業) 学校開放事業は、スポーツ活動の場として小・中学校の体育館等の施設を開放している。種目指定校は、市街地の小・中学校とし、少年団・社会人等の団体等が利用している。地域指定校は、郡部の小学校とし、地域の少年団や団体が利用している。今後も社会体育の普及のため継続したい。</p> <p>(施設全般) 気軽に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は整備されているが、競技志向の高まりから施設コンディションのグレードアップや施設の新設を望む声も聞かれ、今後の検討課題となっている。</p>									
施 設 名	件 数	人 数																			
鈴蘭軽スポーツセンター	1,020	11,829																			
宝来軽スポーツセンター	1,063	16,635																			
	<p>(3) 運動公園等</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施 設 名</th> <th style="text-align: center;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望が丘野球場</td> <td style="text-align: center;">3,770</td> </tr> <tr> <td>柳町野球場</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場(1か所、2面)</td> <td style="text-align: center;">4,245</td> </tr> <tr> <td>サッカー場(1か所、2面)</td> <td style="text-align: center;">32,224</td> </tr> <tr> <td>テニスコート(3か所、10面)</td> <td style="text-align: center;">6,526</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー場</td> <td style="text-align: center;">3,033</td> </tr> <tr> <td>カーリング場</td> <td style="text-align: center;">133</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)</td> <td style="text-align: center;">63,390 (12,710)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中央公園) (音更町サッカー場) (希望が丘、緑陽台、木野北)</p>		施 設 名	人 数	希望が丘野球場	3,770	柳町野球場	-	ソフトボール場(1か所、2面)	4,245	サッカー場(1か所、2面)		32,224	テニスコート(3か所、10面)	6,526	アイスホッケー場	3,033	カーリング場	133	パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	63,390 (12,710)
施 設 名	人 数																				
希望が丘野球場	3,770																				
柳町野球場	-																				
ソフトボール場(1か所、2面)	4,245																				
サッカー場(1か所、2面)	32,224																				
テニスコート(3か所、10面)	6,526																				
アイスホッケー場	3,033																				
カーリング場	133																				
パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	63,390 (12,710)																				
	<p>(4) 学校開放事業</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種目指定開放校(11校)</th> <th style="text-align: center;">地 域 開 放 校 (10 校)</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">87,180</td> <td style="text-align: center;">12,210</td> <td style="text-align: center;">99,390</td> </tr> </tbody> </table>		種目指定開放校(11校)	地 域 開 放 校 (10 校)	計	87,180	12,210	99,390													
種目指定開放校(11校)	地 域 開 放 校 (10 校)	計																			
87,180	12,210	99,390																			
5 指定管理者制度の導入	<p>次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入している。</p> <p>(1) 温水プール 平成18年度～ (2) 総合体育館・武道館 平成19年度～</p>		<p>指定管理者制度は、施設の効率的・効果的な運営を図るとともに、利用者に対してより良いサービスの提供に努めるものとして導入した。 民間事業者のノウハウを活用して、町民の心身の健全な発達とスポーツの普及振興に寄与しており、今後も事業の充実に期待するものである。</p>																		

4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況

意見	対応状況
<p>【総合的な評価】</p> <p>音更町の学校教育・社会教育の充実・発展のための教育行政執行方針や各種計画に基づき、各事業・施策が実施されている。加えて、地域の一人ひとりが教育に関心を持ち、相互に連携を深めていくための様々な行事が行われている。今後は、例年開催されている行事について形骸化しないよう、アンケート等で得られた結果をフィードバックし、課題点を導き出すとともに、事業の改善や統廃合等を行い、より地域のニーズに合った効果的な取組を期待する。</p> <p>【教育委員会の活動状況】</p> <p>会議の状況については、月1回の定例会議と臨時会議を開催し、委員相互の意見交換の場を設定したりするなど質疑・審議の活発化を図っており、教育委員会会議の役割や機能を果たしている。</p> <p>学校訪問については、全小中学校を対象に各学校の学校運営や教育環境の現状について実態把握に努めるとともに、「生活習慣と家庭学習の状況」を重点テーマとし、いじめや不登校の状況、学力・体力の向上への取組等についても意見交換を行っている。</p> <p>今後とも学校課題や喫緊の課題を共有するとともに、授業参観の重点化や主幹教諭・主任教諭との交流、適正な訪問時間などについて検討していただきたい。</p> <p>【重点的な評価】</p> <p>〈確かな学力の向上〉</p> <p>「全国学力・学習状況調査」を10年以上にわたり実施し、児童生徒の学力の傾向の把握と課題を捉え、さらに調査結果の分析をわかりやすく記載し、学習指導資料「音更町の学力の傾向と改善のポイント」に整理している。本調査を通じ、教</p>	<p>第5期音更町総合計画や音更町教育大綱の基本目標である「心豊かな人を育むまち」の実現に向け教育行政執行方針や各種計画に基づいて、引き続き施策を展開している。</p> <p>施策の実施に当たっては、今後も町民の声や実施による効果を検証しながら、必要に応じて見直しを行い、地域のニーズに合った取組を推進する。</p> <p>定期的な会議の開催と意見交換の場を設け、引き続き活発な論議が行われている。</p> <p>学校訪問については、平成30年度は「異校種間の交流状況」をテーマに、幼保・小・中学校の異校種間で、情報や課題の共有がなされているかなど、スムーズな接続に向けた交流状況を確認した。また、規模により訪問時間の調整を図るとともに、主幹教諭を交えた意見交換を行っている。</p> <p>学習指導資料「音更町の学力の傾向と改善のポイント」については、調査資料の工夫・改善を図るとともに、具体的な教育改善に結びつけることができるように配慮した成果・課題の分析を行っている。</p>

意見	対応状況
<p>育に関する検証サイクルが確立されている。今後は、新学習指導要領を視野に入れた調査項目の検討とともに児童生徒の学力向上に向け、より効果的な実施を期待する。</p> <p>小学校では、「国語A・B」、「算数A・B」全ての教科で全国・全道を下回っていること、「算数A」については、年度毎に改善が見られるものの「算数B」の正答率の低さ、「国語A」の漢字の書き取りや手紙の構成に関する理解の低さという課題点が見られた。</p> <p>このような調査結果を踏まえ、基礎的な学力の定着のために授業内容を工夫するとともに、理解が不十分な箇所については、補習授業の実施、家庭での学び直しとその習慣づけ等の対策が必要である。</p> <p>町教委が作成・配布している「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」の活用状況の把握やPTA（町連P）による実践交流会の開催など家庭への啓蒙・啓発活動の充実を図る施策を検討していただきたい。</p> <p>中学校では、「学校に行くのが、楽しいと思えますか」については、7.4ポイント低い結果となっていること、「国語A」の漢字の書き取りが全国よりも「かなり下回る結果」との記載があり、明らかとなった課題への対応が不可欠である。</p> <p>特に、前年度と同様、小学校の結果とも共通しているが、漢字の書き取りの課題については、学びのつながり・積み重ねを意識した対策が急がれる。</p> <p>また、国語B・数学Bにおける「自分の考えを説明する」問題では無回答率が高いという課題が見られる。今後とも学校と家庭が連携して読書の奨励や家庭学習の質の向上を図るとともに、思考力・表現力を育てる授業改善が求められる。</p>	<p>課題を分かりやすく示し、目標を実現するための学習活動を適切に位置づけ、課題に対するまとめを行い、学習内容の定着を図る授業づくりを進めるとともに、全国学力・学習状況調査の結果の分析・検証を踏まえ、チャレンジテストの活用や補充学習等による習熟度に応じた児童の学力の向上に努めている。今後は、家庭での学習習慣の確立に向けた啓蒙・啓発活動について、学校、PTAとも連携し進めていく。</p> <p>課題提示とまとめの時間の確保により「分かる授業」を目指して授業改善を行っている。また、小・中学校の円滑な接続を進めることにより、学びの連続性の確保に努めている。小学校における対応とも重複するが、今後は、家庭での学習習慣の確立に向けた啓蒙・啓発活動について、学校、PTAとも連携し進めていく。</p>

意見	対応状況
<p>(健やかな体の育成)</p> <p>「音更町の子ども体力と今後の取組～体力向上の運動例とともに～」の「体力・運動能力調査の結果の分析と考察」においては、対象学年である小学校5年生の男女ともに持久力やスピードが必要とされる種目で課題が見受けられた。今後も「柔軟性」等の課題点に重点を置いた指導が求められる。</p> <p>また、小学校の中で体育専科教員の加配による体育授業の充実等が行われており、これからもスポーツを楽しむ上で必要な基礎体力づくり・運動能力の向上の推進に積極的に取り組んでもらいたい。</p> <p>教育委員会や学校の取組の中では、食に関する指導の充実が図られており、音更産食材を使用した「おとぶけ給食」等は、食を通じて地域の生産者と児童生徒が交流できる機会ともなっている。</p> <p>健やかな体の育成の観点で地産地消や食育の推進の他、リズムのある規則正しい生活や望ましい食習慣による健康的な生活習慣の形成には、家庭・PTAとの連携が欠かせないため、正しい栄養・健康情報をわかりやすく提供する等の各家庭のニーズに即した啓発活動の工夫が必要である。</p> <p>(豊かな心の育成)</p> <p>平成29年度のいじめに関するアンケート調査からは、「いじめ」を「嫌な思い」という表現に変えて質問が設定されており、結果として「4月以降に、仲間はずれや無視、たたかれる、悪口を言われる等の嫌な思いをしたことがある」と回答した児童生徒が小学校、中学校とも大幅な増加となっている。このように児童生徒の回答への抵抗感を減らしたことで、今まで数字に示されなかったいじめの予兆も明らかとなり、積極的な認知の動きが反映されている。他のアンケート調査においても、同様に表現の変更を行うことで、児童生徒が嫌な気持ちを表明できる機会を増やし、抱え</p>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果に基づき、年間指導計画に基づく学校全体の体力づくりの推進に継続的に取り組んでいる。体育専科教員の加配による体育授業の充実についても継続して実施している。</p> <p>自校給食の特色を最大限に生かして、地産地消や地場産品への理解を深め、家庭との連携により食事の重要性などを伝えており、また、家庭における生活習慣等について、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果等の情報を各家庭に提供することにより、健康的な生活習慣の形成を図り、体力・運動能力や学習意欲の向上に努めている。</p> <p>いじめに関するアンケート調査での表現の変更を受けて、他のアンケート調査においても「いじめ」を「嫌な思い」をいう表現に変えて実施している。また、町及び各学校において策定している「いじめ対策基本方針」については、平成30年3月に町の方針が改定になったことを踏まえ、各学校においても見直しを行った。この方針に基づき、学校や家庭と連携し、いじめの未然防止と早期発見、早期解消に努めている。</p>

意見	対応状況
<p>込んでいる課題の発見や軽減、いじめの防止に努める必要がある。</p> <p>小学校高学年児童と中学生の 80%以上がインターネットにつながる機器を保持している実態にあり、メールやネット上のトラブルが存在していると思われる。今後とも学校と家庭（PTA）が連携し情報を共有するとともに、情報モラル教育やトラブル防止の指導を推進してもらいたい。</p> <p>町いじめ問題等対策委員会が作成している冊子「いじめに関する実態調査」は、いじめ根絶に向けた生徒指導や「特別の教科 道徳」の貴重な資料となるので、学年ごとの表記（帯グラフなど）の仕方の工夫・改善や調査の概要をまとめた児童・生徒用のパンフレットの作製・配布を検討してもらいたい。</p> <p>不登校は複雑・長期化するほど、学内だけでは限界があること、担任や関係する教員の負担が大きいことから、学内研修会の開催による不登校に関する管理職や教員間の共通意識の醸成や知識の向上、学校教育相談員や心の教室相談員、さらには保健・医療・福祉等の関係機関等への相談・連携体制の整備等を行う必要がある。</p> <p>【教育行政推進における主要な施策の実施状況】</p> <p>教職員研修については、教職員の資質向上の有効な施策として、今後とも道内研修・校内研修・実践指定校事業を継続・拡大していただきたい。学習指導要領の改訂に伴う教科としての「外国語」・「道徳」の指導内容や指導方法、そして「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善など喫緊の課題について取り入れるなど、これまでの研修の内容や方途などについて検討してもらいたい。</p>	<p>インターネットやメール、SNS等については、家庭でのルール作りを支援するとともに、ネットパトロールにより、ネットトラブルの未然防止に努めている。また、携帯電話やスマートフォンの適切な使用方法の指導についても、充実を図っている。</p> <p>いじめに関する実態調査の結果については、平成 29 年度から 2 年分の結果を表示することにより、前年度からの変化が分かるよう、内容の変更を行った。今年度についても、同様の表示方法を行っている。児童・生徒用のパンフレットの作成・配布については今後の検討課題としたい。</p> <p>心の教室相談員や適応指導相談員、学校教育相談員の活用により、児童生徒の不登校に対し早期に対応するとともに、個々の児童生徒の状態に応じた指導、段階的な関わりを行っている。また、学校内の連携はもちろんのこと、関係機関との連携を図り、保護者も含めたサポート体制の充実に取り組んでいる。</p> <p>教職員研修については、教職員の資質向上のため、引き続き道内研修・校内研修・実践指定校事業を実施した。</p> <p>学習指導要領の改訂を見据え、外国語や道徳の指導に関する研修への参加や講師の招聘など課題に対応した研修が実施されている。</p>

意 見	対応状況
<p>教育の日推進事業については、事業費及び記念フェスタの参加者が減少しており、プログラムごとの参加者数の調査が必要と考える。</p> <p>教育施設の整備については、最近の猛暑に対する教育環境の維持対策や自然災害における学校の避難所としての環境整備や機能の充実を図るための施策を検討してもらいたい。</p> <p>開かれた学校づくりについては、駒場中学校のコミュニティ・スクールへの移行等、地域住民や保護者の意見を学校運営に反映させ、協働・連携の体制づくりを推進させていくとともに、モデル校の取組の情報発信等、より地域に開かれた学校づくりに期待する。</p> <p>コンピュータ整備については、情報化時代に対応する教育を推進するために小・中学生に1人1台の整備を順次行っている。今後とも学校からの教材・教具の要望に対応するとともに、児童・生徒の学力向上や指導方法の改善に資するICT機器（実物投影機、電子黒板など）の整備についても推進してもらいたい。</p> <p>国際理解教育については、英語指導助手（ALT）や外部サポート講師を配置し、小・中学校や社会人の英会話教室などに活用され、着実に成果を上げている。今後、小学校の「外国語活動」・「外国語」を指導する教員の授業力・英語力の向上を図るために、ALT・外部講師の増員や中学校・高等教育機関との連携などについて検討してもらいたい。</p>	<p>参加者アンケートを通して、どのようなプログラムが良かったのか等を調査し、翌年度の実施の参考にしている。</p> <p>学校施設へのエアコン整備を進めるための検討を行うことで、学校施設における夏の暑さ対策を図っていく。また、避難所としての施設整備については、避難者のトイレ不足を解消するため、災害時に使用可能な屋外トイレの整備を推進していく。</p> <p>平成30年度から駒場中学校が先行してコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を中心として、地域資源を活かし、より地域のニーズに合った学校運営が行われている。また、他の学校においても、コミュニティ・スクールへの移行についての準備が進められている。</p> <p>コンピュータ及び実物投影機などのICT機器の整備については、計画的な導入を進めている。</p> <p>英語指導助手（ALT）については、小・中学校における英語学習のサポートはもとより、社会教育分野での事業にも活用され、国際理解教育の一翼を担っている。また、小学校における外国語の指導に対する外部講師については、学習指導要領の改訂をにらんで、教員の授業力の向上を図るため、時間数を増やして対応している。</p> <p>平成29年度から、小学校外国語活動巡回指導教員研修事業」を実施し、教員への指導助言や教員研修を行っている。</p>

意見	対応状況
<p>(社会教育の振興)</p> <p>青少年教育事業については、町内全児童に対するこども会の構成率が4割を切っており、平成29年度は、竹の子こども会が解散している。今後はこれまでのこども会の取組を踏襲しつつ、児童生徒や家庭の実情に応じた豊かな学びや体験ができる取組を期待する。</p> <p>青少年対策について、放課後子ども教室は、前年度よりも実施回数は多少減少しているが、参加児童数が約2倍となっており、ニーズの高さは明らかである。町内どの地域においても、子どもの安全・安心な居場所づくりが必要であり、町内全小学校で開設されることが望ましい。今後も多くの児童が参加することが見込まれるため、スタッフや見守りサポーターの増員等マンパワーの確保が必要である。</p> <p>地域の教育資源を活用した「OOJCオープンカレッジ」や「高校解放講座」そして「生涯学習フェスティバル」などの生涯学習事業については、参加人数が前年度並みの水準であり、町民ばかりでなく帯広市民や50代以上の参加者が多くみられる。今後も地域の特色を生かした学習内容や高等教育機関、文化団体・サークルとの連携を図り、町民のニーズに応じた生涯学習の機会と場を推進してもらいたい。</p> <p>文化・芸術事業については、文化センターの芸術鑑賞事業の事業数の増加に伴い、参加人数が増えている。今後も幼児・児童向けの鑑賞事業とともに町民のニーズに合わせた事業の展開に努められたい。なお、事業数の増加や参加人数の増員等の実績、各団体や機関等との連携の推進を鑑み、施設利用の空き状況をホームページに公開する等、より芸術文化の奨励と向上のための工夫が必要である。</p>	<p>竹の子こども会世話人会と共催で開催していた事業については、教育委員会の主催として継続実施した。また、こども体験隊や北部三町が連携したリーダーズキャンプ、新規事業の中学生リーダー研修会など、体験学習を含めたさまざまな取組を実施している。</p> <p>マンパワーの確保についてはシニア世代にも目を向けボランティア確保を進めることとした。高齢者福祉部署で実施している制度と連携することにより、平成30年度に説明会も開催された。既開設校では、新学習指導要領の全面実施後も継続の要望があることから、市街地未実施校でも開設は可能と考えており、これらの学校での開設をはじめとして、拡大を目指す。</p> <p>幅広い内容の生涯学習プログラムを提供している「OOJCオープンカレッジ」や「音更高校開放講座」を継続実施している。また、さまざまな団体・サークルが参加している「生涯学習フェスティバル」については、引き続き多くの人びとが集うことのできるイベントを目標に推進していく。</p> <p>今後も町民ニーズに合った事業の展開に取り組むと共に文化協会、文化事業協会と連携協力し、芸術文化の振興に努めたい。</p> <p>事業数や参加人数等の実績については、この点検評価報告書をホームページで公表しているが、他の方法についても検討していく。</p> <p>文化センターの空き状況のホームページ公開については、町全体での公共施設予約状況システム等の導入について研究協議していく。</p>

意見	対応状況
<p>「図書、視聴覚の振興」については、入館者・貸出人数・貸出冊数いずれも前年度と比較し減少が見られる。子どもたちが手軽に本に触れ、読書ができる環境づくりを図り、図書館への入館につなげていくことが必要である。</p> <p>今後とも「より開かれた魅力ある」図書館を目指し、その要因や背景を探るとともに、施設的环境整備や読書活動の啓蒙・啓発を推進してもらいたい。</p> <p>(社会体育の振興)</p> <p>「体力づくり、健康づくりの振興」や「施設利用状況」について、利用者の増減は見られるものの、多くの人たちが事業へ参加している。指定管理者制度による民間のノウハウが活かされた成果とも考えられる。今後も多くの地域住民の健康維持・増進、体力づくりの促進のため、施設の適切な維持管理に努めるとともに、台風によって甚大な被害を被った屋外施設について、国や道などの関係機関と連絡・調整をし、可能な限り早期に復旧することを期待する。</p>	<p>今後も町民ニーズに合った図書の整備と入館につながる事業展開及び情報発信に努めたい。</p> <p>子どもの読書活動の推進については、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、学級文庫等の取組みを継続し、手軽に本に親しめる環境づくりに努めていく。</p> <p>今後も町民ニーズに合った運動機会の提供について、スポーツ協会や指定管理者とも連携協力し、スポーツの普及、振興に努めたい。</p> <p>また、被災した屋外運動施設については、柳町河川緑地を除くパークゴルフ場は既に再開済み又は今年度再開するが、柳町河川緑地、木野広場については、引き続き国等と連携しながら復旧に向けて取り組んでいきたい。</p>

Ⅱ 学識経験者の意見

帯広大谷短期大学特別任用教授 野崎 司春

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議の活性化に向けて、事務局が各委員に対して議案・資料等の事前説明を行うとともに、会議の前に委員相互の意見交換の場を設ける等の工夫がなされ、教育委員会会議の機能は果たされている。

教育長、教育委員による学校訪問が定着し、30年度は異校種間の交流状況を重点テーマに実態を把握し、各学校におけるいじめや不登校の状況、学力・体力向上の取り組み等について意見交換を行っている。また、各学校の教職員とのふれ合いを重視し、職員室における教育長からの挨拶等をとおして、教育行政と各校教職員との距離感をなくしていく努力がなされている。

今後とも教育委員会会議の審議の活性化に向けて一層の工夫改善を図っていただくとともに、学校現場との連携・協力を深めるために、委員による授業の参観やミドルリーダーとの意見交換の機会などについて検討していただきたい。

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

子どもたちの確かな学力の向上に向けては、指導体制の充実を図る観点から、特別支援教育学習支援員、町費負担の臨時教諭を配置しているほか、教職員の研修機会の充実に向けた支援などを行っている。また、コンピュータなどの教育機材の計画的な導入を進めるとともに、家庭との連携も重視し「家庭学習のすすめ」「家庭学習の手引き」の作成、配布を行っている。

他方、学力の実態把握も継続して行われており、全町的な学力の傾向等について学習指導資料「音更町の学力の傾向と改善のポイント（音更町教育研究所）」において詳細に分析がなされ改善の方策も示されている。

その学習指導資料によると、平成30年度の小学校の学力は、国語Bは全国平均を上回る結果となり、国語A・算数B・理科においては差がほとんどない状況で、前年度からの改善が示された結果となっている。

中学校においては、全ての教科において、全道・全国を上回る結果となっている。

このような改善の傾向は、学習状況（質問紙）調査の結果にも表れており、授業時間以外の勉強の時間数が増えてきていること、また、授業に臨む姿勢がより積極的なものとなってきていることが示されている。

一方で、子どもの学力の課題となるところも明らかになっている。

国語においては、小学校、中学校ともに漢字の書き取り等が低い結果となっており、小学校算数Aにおいては、単位量や割合を求める問題などの正答率が低く出ている。また、小学校の授業以外の勉強の時間数が本町の経年変化では改善がみられるものの、全国・全道よりも依然として低い状況が続いている。

こうしたことから、学校現場においては、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、下位層の底上げに向けた授業の改善が引き続き期待されるとともに、特に小学校において「家庭学習の手引き」等を活用しての家庭との連携の強化が求められる。さらに、学力の分析にあたっては、本町の学力の経年変化になお一層注目し、本町の子どもたちに共通した傾向や特徴を探り、それを受けた改善策が示されることに期待したい。

(2) 健やかな体の育成

体力向上の取り組みとして、各学校の教材・教具の充実に向けた支援、体育専科教員の加配、スポーツ指導者等の育成などに取り組んでいるほか、各学校においては体育の授業改善による基礎体力の向上、体育的行事を通じた体力づくりなどが行われている。

小学5年生と中学2年生を対象に実施されている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、小学校では体力合計点で全国平均を下回っているものの全道平均に近づいている。中学校においては、全国平均を下回っているものの、全道平均を上回る結果となっている。

この調査結果は、「音更町の子どもの体力と今後の取組（音更町教育研究所）」において細かく分析がなされ、小学校男子では「柔軟性」「体幹」「持久力」に課題があるなど、小中男女別にそれぞれの指導上の課題が示されている。また、そうした結果は学校個々の変動もあることから、課題の改善に向け、各学校においては全町的な傾向及び自校の実態に基づいたより効果的な授業や体育的行事の工夫・改善を行うことが期待される。また、体力等については、放課後及び休日等の過ごし方との関連も大きいことから、家庭や地域との間での課題の共有化及び改善に向けた取り組みの工夫なども検討していただきたい。

(3) 豊かな心の育成

いじめや不登校をなくしていく取り組みについては、全ての児童生徒を対象としたいじめに関するアンケート調査のほか、心の教室相談員等の配置による相談体制の充実、適応指導教室による不登校対策などが講じられている。各学校においては、「いじめ防止基本方針」に基づく早期発見・早期解消の取り組みや、道徳の授業の充実などに力を入れており、家庭や地域との連携を図る努力もなされている。

平成30年11月に実施したいじめに関するアンケート調査では、4月以降にいじめを受けたと回答した小学生が542件、中学生が79件あり、そのなかで今でも続いていると答えた小学生が195件、中学生が22件となっている。これらの事案については、各学校

による教育相談等の取り組みにより、3月までに解消しているものの、このいじめの問題についてはこの問題の性質上引き続き最重要課題のひとつとしてあらゆる観点からの充実した取り組みが求められる。特に、いじめの件数が小学校低学年において多くなる実態があることから、小学校と幼保との情報交換の機会を設けることや連携した取り組みを行うことも新たに検討されるべきと考える。

不登校については、この一年中学校において減少したものの、小学校においては増加している。不登校の要因や背景は複雑・多岐にわたっており、解消のためには、学校、家庭、関係機関の連携が引き続き重要となる。また、本人及び家族の悩みに寄り添える体制を充実させる観点から不登校学習会等の一層の充実が期待される。

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策

教職員研修については、学校教育の根幹をなす課題の一つであり、また、学習指導要領の改訂に伴う研修課題も多々生じていることから、なお一層の充実を期待したい。特に「道徳」の教科化を受けた研修の充実等について、教育推進員を迎えた形の校内研修の実施などが考えられる。

教職員健康対策では、教職員の勤務実態の把握に努め、いわゆる働き方改革を可能な範囲で進めることが重要である。また、実際に健康を害する教職員も少なからず生じていることから、教職員の健康診断と合わせてストレスチェックの実施を全教職員に及ぶよう努めていただきたい。

食育については「おとづけ給食」を核として地産地消と結びつけた本町ならではの食育がなされており効果をあげている。一方で、家庭での食習慣の乱れも指摘されていることから、家庭やPTAと連動した取り組みや、正しい食習慣に関する啓発等についてはなお一層力を入れていく必要がある。

特別支援教育については、これまで本町独自に生活介助員や学習支援員の配置などを行ってきているところであるが、障害等の重度・重複化が進む中で引き続き重要な課題と位置づけられる。個々の児童生徒の障害の種類や程度に応じた個別の指導計画・支援計画に基づいた支援体制の充実が求められており、家庭・学校・関係機関の日ごろからの連携が重要である。連携をサポートするコーディネーターの育成や、介助員・支援員等の研修機会の拡充等が期待される。

(2) 社会教育の振興

青少年対策については、子どもの居場所作りを目的とする「放課後子ども教室」の充実が一層期待される。現在、市街地の4校で実施されているが、今後は市街地の全ての学校での実施を目指すとともに、全小学校への拡大が求められる。

また、児童虐待等の社会問題も顕在化しつつあるなか、青少年悩み相談の拡充等によ

る早期発見体制の充実が必要となる。

文化・芸術事業については、「文化祭」をはじめとして、小・中学生を対象とした恒例の事業等により町民の芸術文化の奨励と向上が図られている。一方で、芸術鑑賞事業が前年より縮小する結果となっていることから、引き続き文化事業協会との連携を密に進めるとともに、各事業団体の活動の実態や、事業を実施するに当たっての意向等の調査を行うことも検討されたい。

(3) 社会体育の振興

体力づくり、健康づくりの振興については、幼児から高齢者まで各年代や体力に応じたプログラムが各種用意されており、多くの町民が利用している。「大人水泳教室」には延べ 20,000 人以上の参加があり、「体力づくり教室」の各プログラムにも多数の参加者がある。背景には町民の高い関心と強い意欲があるとともに、平成 18 年度からスタートした指定管理者制度による民間活力の導入の成果とみることもできる。

今後は、一層町民の意向の把握に努め、より細かいニーズに対応したプログラムの工夫・改善を期待したい。

1 教育委員会の活動状況

学校教育法施行規則や北海道・十勝教育推進の重点を踏まえ、かつ音更町教育大綱に基づき、教育行政執行方針が作成されている。町民一人ひとりが笑顔あふれる住みよい町の実現に向け、「心豊かな人を育むまち」を掲げ、2本の柱「子どもの教育」と「生涯教育」の充実・発展に向けて、各種の事業や施策の展開が整合性を図り、推進されていることに対して評価をしたい。

各種会議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律や道・町管理規則に基づいて定例会議が毎月1回と臨時会議が3回の計15回開催されている。会議の活性化と十分な審議を行うために、各委員に議案・資料等の事前配布や説明を行うなどして、委員への配慮もなされ、教育委員会の機能も十分に果たされていると思われる。

学校訪問の状況については、各学校の経営の重点及び懸案事項等の説明を受け、授業参観、管理職との意見交換を行っている。学校課題や喫緊の課題等もある中で、訪問時間が1校1時間～1時間30分程度は適正な交流時間であるか、検討をお願いしたい。

また、ミドルリーダーの育成と指導力の向上を図る視点からも、主幹教諭や主任教諭の同席が必要である。

令和2年度から全面実施される学習指導要領の改訂の基本方針や児童生徒に身につけさせたい資質や能力、配慮すべき教育課程の編成・実施等についての情報の提供を的確に行ってほしい。

2 重点的評価

(1) 確かな学力の向上

「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、学力の傾向と改善のポイントを考察し、「児童・生徒質問紙」についてのクロス集計を行い、活用していることは今後の学習指導の充実に資するものである。

小学校の「全国学力・学習状況調査」においては、国語AB・算数AB・理科ともに全道平均を上回り、全国平均とほとんど差異のない状況で、国語Bでは全国平均を上回る結果となり、改善の傾向が見られる。国語Aは「言葉や同意味の漢字の問題」の無回答が多く、国語Bでは「考えをまとめて書く問題」の正答率が全国平均を大きく下回った。

算数ABともに全道・全国平均よりやや下回ったが、改善の傾向が見られる。算数Aは「単体量」、「割合」を求める問題の正答率が低かった。算数Bは「量と測定」、「図形」は全道・全国を上回ったが「数と計算」、「数量関係」は全国を下回っており、グラフの

読み取り、数量と関連付けて根拠を明確にする問題の正答率が低かった。

理科は全国平均と差異のない状況であり、「生命」、「地球」の領域は全国平均を上回ったが「物質」、「エネルギー」の領域では下回った。

「児童質問紙調査」においては、「普段（月～金）家庭学習を1時間以上行っている」の割合が、ここ数年の中で一番高いが、全国・全道平均より下回っており、児童の指導はもとより家庭との連携・協働が必要のように思われる。また、家庭学習の仕方が分からない児童も多く、教育委員会で作成している「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」の効果的な活用により、学習習慣の改善を図る取り組みをお願いしたい。

家庭学習における課題のプリント作成についても、児童の習熟の程度も異なることから個々の能力に応じたプリント作成の工夫が必要である。

「算数の授業が分かる」の割合が全国・全道平均を上回り、経年比較でも大きく上回っており、分かる授業の改善が図られてきているものと思われる。毎時間の授業における導入の段階で、徹底した課題の提示と終了時のまとめの振り返り学習が定着したものと思われる。今後も継続した指導をお願いしたい。

「授業で課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組む」の割合が全国・全道を大きく上回り、経年比較でも高い状況にあった。自ら主体的に授業に参加する姿勢が見られたことは授業改善の成果であり、大いに評価できよう。

「将来の夢や目標をもつ」の割合が全国・全道平均を大きく上回り、経年比較でもここ数年の中で一番高く、キャリア教育の成果といえよう。将来の生き方や目標を持たせることは、学習意欲とも大きな関わりがあり、今後も継続的な指導を期待する。

中学校の「全国学力・学習状況調査」においては、国語AB、数学AB、理科ともに全国・全道平均を上回り、特に、国語ABはすべての領域で全国平均を上回っており、指導の成果が表れている。ただ、国語Aの「漢字の書き取り」、国語Bの「話のあらすじを学級の友達にどのように説明するか」の正答率が全国より下回っていた。数学ABは全国平均を上回り、ここ数年間全国との差を広げている。ただ、数学Aは「絶対値の意味を理解している」の正答率が全国平均を下回り、「等式の変形」の無回答が特に多かった。数学Bは「計算の順序を入れ替える」の正答率が全国平均を下回ったが、他はすべての領域で全国平均を上回り、着実に指導の成果が表れている。理科は「光の反射」の正答率が全国平均を下回ったが、他の領域では全国平均を上回っている。このような好結果の要因や背景として、家庭学習の定着と指導方法の工夫・改善が考えられる。

「生徒質問紙調査」においては、「1時間以上の家庭学習をしている」と「3時間以上の家庭学習をしている」の割合が全国・全道平均を大幅に上回っている。また、「数学の授業の内容が分かる」の割合も全国・全道平均を上回り、「分かる」の回答率が80%となり、経年比較でもここ数年の中で一番高い状況にある。今後も道の指導方法の工夫・改善事業や少人数学級実践研究事業の活用により学習環境整備のための加配継続を各学校

をお願いしたい。また、町費負担の学習支援員の継続と臨時教諭を中学校にも配置して、習熟に応じた指導やきめ細かな補足的学習サポートの充実をお願いしたい。

「全国学力・学習状況調査の分析」の資料の有効活用を図るために、町内研究会の中に組み込んで研究所の発表を行い、指導と評価の一体化を図る取り組みはどうか。また、教職員の資質向上を図るために、各種研修会への参加補助金の増額をお願いしたい。

(2) 健やかな体の育成

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析・考察について、指導資料「音更町の子どもの体力と今後の取り組み」としてまとめ、「体力向上実技研修会」を開催している。このことは、本町の子どもたちの運動に対する積極的な取り組みや体力・運動能力の向上に資するものであり、大いに評価したい。

小学校の「体力・運動能力調査」においては、5年生男子・女子ともに体力合計点で全国平均をやや下回っているが、改善の傾向が見られる。各種目では、男女ともに「反復横とび」、「立ち幅跳び」、「ソフトボール投げ」が全国平均を上回っている。反面、「50m走」「握力」が全国平均を下回り、「走力」や「握力・筋力」の向上を目指した指導方法の改善・充実が求められる。また、色々な課題はあると思うが、経年変化を可視化し、子どもたちに「伸び」を実感させることが、次への意欲に繋がる。調査対象学年だけでなく、全学年の実施の取り組みをお願いしたい。

小学校の「運動習慣等調査」においては、5年生男子・女子ともに「運動が好き」、「体育の授業が楽しい」、「家の人からの運動の進め」の割合が全国・全道平均を上回っており、今後も運動を楽しむ意識づけや運動のできる環境づくりの推進をお願いしたい。また、体育専科教員を一部の学校に配置し、拠点校方式で授業が実施されたことは専門性を考えたとき「運動が好き」、「授業が楽しい」と相関関係にあり、成果であると思われる。ぜひ、教員の配置を工夫しながら、多級校の学校に体育専科教員の配置の検討をお願いしたい。

中学校の「体力・運動能力調査」においては、2年生男子・女子ともに昨年同様、体力合計点で全道平均を上回ったものの、全国平均は下回った。各種目では男子・女子ともに「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」では全国平均を上回り、男子においては、「反復横とび」を除いて他の種目で全国との差がほとんどなく改善の方向にある。女子においては、「握力」、「上体起こし」、「長座対前屈」、「反復横跳び」が全国を下回っている。課題としては、男子・女子ともに「敏捷性」であり、女子では「筋力」を加えて、これらの向上を目指した指導方法の工夫・改善が求められる。

中学校の「運動習慣等調査」においては、2年生男子・女子ともにほとんどの種目で全国平均を上回った。日常の授業や体育的行事を通して、指導と評価の一体化が図られていることが読み取れる。女子において全国・全道平均を下回った「運動部の加入状況」については、個々の生徒の興味・関心もありこの調査のみでは課題として挙げることは

難しい。(運動部に未加入だが、文化部に加入している生徒もいることより)

食育に関しては、栄養教諭の配置で地産池消を含めて「おとづけ給食」を通して食に関する指導の充実が図られていることは大いに評価できる。自校給食であり、児童・生徒はもとより教職員からの評価も高く、特色ある学校づくりのひとつにもなっている。

食育は家庭との連携・協働が欠かせない。健康に関する情報や健やかな体の育成の情報等の提供が不可欠である。

(3) 豊かな心の育成

音更町いじめ問題対策委員会で実施している「いじめに関する実態調査」では、小学校においては前年より「いやな思いをしたことがある」と回答した低学年が増加傾向にある。行為としては「悪口を言われた」、「叩かれたり、蹴られたりする」、「仲間はずれや、無視をされる」の項目が高い数値を示しているが、学年が上がるにつれて減少傾向にある。アンケート調査後の速やかな教育相談によって「いやな思い」の案件はすべて解消されている。「いじめはどんな理由があってもゆるされない」の設問で「そう思う」と回答している中・高学年が80%以上回答しているが、100%を目指すためにも「そう思わない」、「よく分からない」、「無回答」が20%前後で、継続・早急な指導が必要である。いじめは一部の子どもから始まっている。

中学校においては、「嫌な思いをしたことがある」と回答した生徒が減少傾向にある。「いじめはどんな理由があっても許されない」の設問で「そう思わない」、「よく分からない」、「無回答」が25%前後で、小学校と同様に継続・早急な指導が必要である。

いじめ問題は、学校だけで抱えるのではなく、参観日や学校便り、地域懇談会等を通していじめは許さないという雰囲気を学校・家庭・地域全体で醸成していくことが大切である。現在、一部学校で進めているコミュニティ・スクールを全学校に早く導入し、コミュニティ・スクールの活動の中にいじめ問題を位置づけ、地域の教育力を活用したいいじめ問題対策の推進をお願いしたい。

次に、「情報機器」については、小学校高学年の児童や中学生の80%以上がパソコンやスマートフォン等を保持していることからインターネットのトラブルが益々増加するものと予想される。情報化の加速した波が、年々強く押し寄せてきており、波に飲み込まれることのないよう、家庭のルール、有害情報対策や情報モラル教育の推進など、適切な機器使用方法の指導も不可欠である。

不登校の状況については、前年度に比べて小学生は大幅に増え、中学生は減少している。要因や背景は複雑・長期化し、多岐にわたるため、家庭や地域を含めた広い視点から対策を立てる必要がある。現在取り組んでいる適応指導教室の改善・充実や特別な教育課程の編成・実施を通して、個に応じた対応が急務である。保護者、児童生徒及び関係機関を対象とした不登校学習会の開催も継続した実施をお願いしたい。

「いじめ」、「不登校」の指導については、対処療法にならぬよう積極的な生徒指導を

行うことはもとより、ハイパーＱＵを活用し、ＳＯＳのサインを見逃すことのないよう未然防止、早期発見と早期指導に努める必要がある。また、道徳教育はもとより全教育活動を通して道徳的実践の育成や繰り返しの指導・助言をお願いしたい。

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策

「教職員研修」については、教職員の資質・能力や指導技術の向上を図るために「校内研修費」、「道内研修費」、「校内研修実践事業費」の補助をして研修の充実に努めているが、今後も継続した取り組みをお願いしたい。また、新学習指導要領もスタート間近であり、教育課程編成・実施や生徒指導上の諸課題も山積していると思われる。全国各地で、課題解決に向けた先進的な研究開発が推進されている状況下、道外研修を含めて拡大した視察研修の検討をお願いしたい。

「教職員の健康対策」については、今日的な課題でもある教職員の勤務過多の折、早急にストレスチェック検査を導入いただいたことは大いに評価したい。メンタルヘルスの未然防止やストレスの早期発見に役立つために継続して実施をお願いしたい。

「教育施設の整備」については、老朽化した校舎の改善や防火シャッター・網戸整備事業・運動場の外壁塗装・プールの改修工事も行われ、児童・生徒の安全確保と教育環境の整備が図られている。冬期間における暖房設備は整備されているが、夏季間の冷房設備が課題のように思われる。ここ数年、温暖化の影響により異常気象が見られることから、熱中症も心配であり早急に整備の検討をお願いしたい。

「情報教育」については、コンピューターの使用は中学校が一人一台となっているが、小学校が二人で一台の学校もあり、早急な整備をお願いしたい。

「国際理解教育」については、英語指導助手(A L T)や外部サポート講師を小中学校に派遣しているが、小学校3・4年生の「外国語活動」、5・6年生の「外国語」が導入されることにより教員研修の更なる充実が必要である。また、学びをつなぐ取り組みと合わせ、中学校の英語科教員の小学校への乗り入れを含めた検討をお願いしたい。

「特別支援教育」については、町費予算で個々の障がいの状況に応じて生活介助員や学習支援員・複式教育支援員を配置している。安心・安全な学校づくりは、児童・生徒の「心の居場所」となり、学力向上にも結びつくので引き続き配置頂き、支援員の資質向上を図るために研修会の開催の検討をお願いしたい。

(2) 社会教育の振興

「青少年対策」については、「巡視指導活動」、「有害環境の浄化活動」、「通報活動」、「広報活動」、「研修活動」等、関係機関と連携して非行防止に努めている。「放課後子ども教室」は、児童の健全育成を中心に市街地の4校で実施している。今後、残りの市街地校から全小学校への実施を考えているが、各学校との十分な協議等をお願いしたい。

新学習指導要領がスタートすると、放課後の空き時間が4年生からは週1時間となり、その時間に色々な行事が入ってくることが予想される。日課表のどの時間に実施するの
かも含め、希望する多くの児童が参加しやすい体制作りをお願いしたい。

「文化・芸術事業」については、小学生の芸術鑑賞会と中学生のための音楽教室は情
操教育の一環として大切であり、継続した取り組みと、演劇やコンサートの選定に当た
っては、学校担当者との検討・協議をお願いしたい。

「文化センターの利用状況」については、昨年より芸術鑑賞事業の事業数は2減であ
ったが、「鑑賞会・発表会」、「研修会・講演・講習会」の利用人数が2,000人以上増加し、
住民のニーズにあった開催となっているように思われる。これからも利用しやすい施設
づくりを目指して取り組みをお願いしたい。

「図書館の利用状況」については、貸し出し人数が図書館と分館を合わせて、昨年よ
り小学生と30歳代から40歳代の利用者数が減少している。小学生については、朝読書
とのタイアップの検討はどうであろうか。住民にとって「親しみやすい図書館」を目指
して、要因や背景を探る早急な取り組みをお願いしたい。

学校と図書館（図書館司書と司書教諭、図書館担当者）との交流や研修会の開催をお
願いしたい。

（3）社会体育の振興

「体力づくり、健康づくりの振興」については、多くのスポーツ教室が開催され、各
教室の利用人数の多少はあるが、住民が楽しんでいる様子が伺える。今後は、成果の上
がっている指定管理者制度の有効活用を図り、住民のニーズに応える教室と参加者の声
を大切にする教室の開設をお願いしたい。プールの使用については、他町村の方々の利
用者も多く、評判もよいので近隣町村の中核としての町として広域性という考えも必要
ではないか。